

島根原子力発電所周辺 環境放射線等調査結果

平成30年度 第4・四半期

島 根 県

ま え が き

「平成30年度島根原子力発電所周辺環境放射線等測定計画」に基づき、
発電所周辺地域の環境放射線等の調査を行った。

この報告書は、平成31年1月から3月の測定結果について、「島根原子
力発電所周辺環境放射線等測定技術会」において検討、確認されたものを
とりまとめたものである。

目 次

I. 環境放射線関係

1. 調査機関	1
2. 調査項目及び測定法	1
3. 評価と調査結果の概要	2
4. 調査項目別測定結果	7
(1) 空間放射線	7
1) 積算線量	7
2) 線量率	8
(2) 地表面における人工放射能	20
(3) 環境試料中の放射能	21
1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種	21
2) トリチウム	28
3) ストロンチウム90	30
(付図)	31

II. 温排水関係

1. 調査機関	35
2. 調査項目及び測定方法	35
3. 今期の島根原子力発電所の運転状況	35
(別図) 温排水測定定点図	36
4. 評価と調査結果の概要	37
(1) 沖合定線	37
(2) 格子状定線	39
(3) 沿岸定点	40
(4) 水色	41
〔添付資料〕	
資料1-1 島根原子力発電所 沖合定線の水温	42
資料1-2 島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図	43
資料1-3 島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図	44
資料1-4 島根原子力発電所 基準水温より水温が高かった定点の過去の出現範囲	45
資料2-1 島根原子力発電所 格子状定線の水温	46
資料2-2 島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図	50
資料2-3 島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図	52
資料3-1 島根原子力発電所 沿岸定点の水温	54
資料3-2 島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移	57
資料3-3 島根原子力発電所 沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果	58

III. 参考資料

1. 島根原子力発電所敷地内におけるモニタリングポスト測定結果	59
2. 島根原子力発電所における放射性廃棄物管理の状況	60
3. 島根原子力発電所の運転状況	62
4. 環境放射能の検出下限値	63
5. 空間放射線量率が平常の変動幅を超過した場合の原因究明フローチャート	74
用語の解説	75

I 環境放射線關係

調査内容

平成31年1月～3月の調査内容は次のとおりである。

1. 調査機関 島根県、中国電力株式会社

2. 調査項目及び測定法

調査項目		測定機関	測定法		測定機器	供試料量	
空間放射線	積算線量	島根県 中国電力	文部科学省編 「蛍光ガラス線量計を用いた 環境γ線量測定法」による。		蛍光ガラス線量計 (RPLD)		
	線量率 (モニタリングポスト)	島根県	エネルギー補償方式		NaI (Tl) シンチレー ション検出器 (深田 北、北講武及び片 句はゲルマニウム半 導体検出器による γ線エネルギー弁 別装置付き)		
人工放射能面密度		島根県	ゲルマニウム半導体検出器 によるin-situ測定		高分解能γ線スペ クトロメータ (高 純度ゲルマニウム 検出器)		
環境試料中の放射能	γ線スペクトロメトリー対象核種	浮遊塵	島根県	計測試料	文部科学省 編 「ゲルマニウ ム半導体検 出器によるγ 線スペクトロ メトリー」に よる。	高分解能γ線スペ クトロメータ (高 純度ゲルマニウム 検出器)	
				分析 捕集フィルター			8000m ³
		海底土	乾物	100g乾土			
		陸土	乾物	100g乾土			
		海水	吸着物	30ℓ			
		陸水	濃縮物	60～100ℓ			
		牛乳	生試料	3ℓ			
		植物	灰化物 (ヨウ素131以外の核種)	灰: 1.5～3kg生相当 生: 0.6～0.7kg生			
		農産物	生体 (ヨウ素131)	灰: 2～9kg生相当 生: 1～3kg生			
		海産生物		灰: 1～3kg生相当 生: 2～3kg生			
放射能	トリチウム	大気水	島根県	文部科学省編 「トリチウム分析法」による。	低バックグラウン ド液体シンチレー ション計数装置	50mℓ	
		海陸水	島根県 中国電力				
放射能	ストロンチウム90	植物	島根県	文部科学省編 「放射性ストロンチウム分 析法」による。	低バックグラウン ドガスフロー計数 装置	灰: 0.7kg生相当	
		農産物				灰: 0.3～0.7kg生相当	
		陸土				100g乾土	
		海水				20ℓ	
		海産生物				灰: 0.2～0.5kg生相当	

3. 評価と調査結果の概要

(1) 評価結果

今期の調査結果について、各々の測定項目について詳細な検討を行ったが、島根原子力発電所による影響は認められなかった。

(2) 調査結果の概要

1) 空間放射線

a) 積算線量 (P7)

片句地点、御津地点及び古浦地点を除くすべての地点で、平常の変動幅内または一般の環境で認められる程度の値であった。

片句地点については平成 25 年度に、御津地点及び古浦地点については平成 26 年度に実施した局舎更新に伴う測定環境の変化および場所の移動を行ったため、平常の変動幅は未設定であるが、一般の環境で認められる程度の値であった。

b) 線量率 (モニタリングポストによる測定) (P17~19)

1 月に西浜佐陀、御津、古浦、深田北、片句、北講武、佐陀本郷、末次、大芦、上講武、手結、魚瀬、上大野、大芦別所、加賀、出雲、雲南で、2 月に西浜佐陀、御津、古浦、深田北、片句、北講武、佐陀本郷、末次、大芦、上講武、手結、魚瀬、上大野、東長江、比津、持田、大芦別所、加賀、出雲で、3 月に深田北、北講武、大芦、上講武、手結、手結南、東長江、持田、加賀において平常の変動幅を超える線量率が測定された。気象の状況や人工放射性核種の影響等を調査した結果、いずれも降水による線量率の増加であった。(原因究明のフローは参考資料 5 参照) なお、手結南、池平、名分においてダストヨウ素モニタ設置工事を実施したため、手結南、池平については 1 月、2 月、名分については 2 月を欠測とした。

2) 環境試料中の放射能

a) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種 (P21~27)

今期の試料から対象核種は検出されなかった。

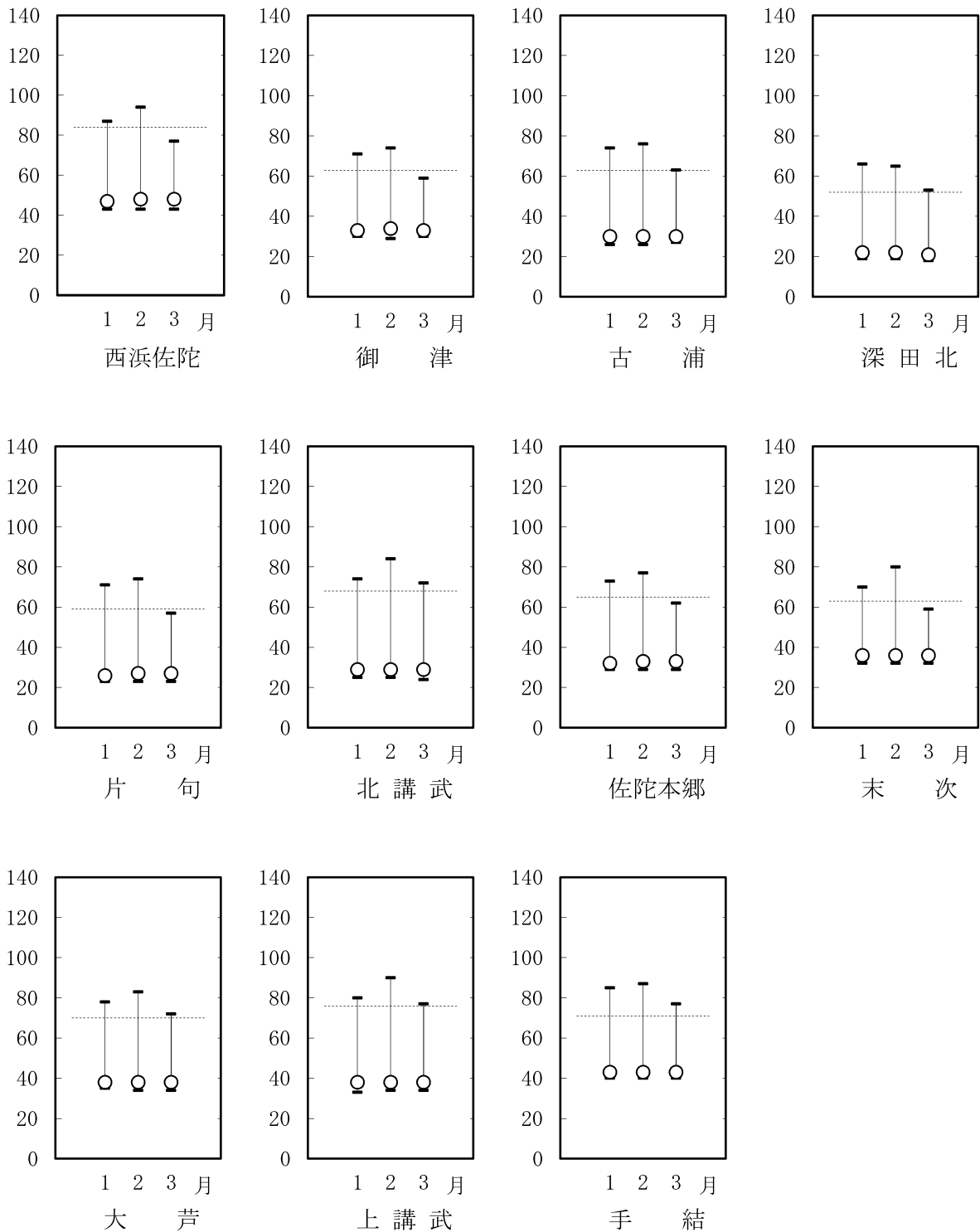
b) トリチウム (P28~29)

今期は大気水 (1 月、3 月: 深田北、北講武) から検出された。

大気水は昨年度から測定を開始したため、平常の変動幅は未設定であるが、一般の環境で認められる程度の値であり、自然放射能等によるものと考えられる。

c) ストロンチウム 90 (P30)

第 3 四半期は農産物 (ほうれん草: 御津) から検出されたが、平常の変動幅内であり過去の大気圏内核実験等によるものと考えられる。



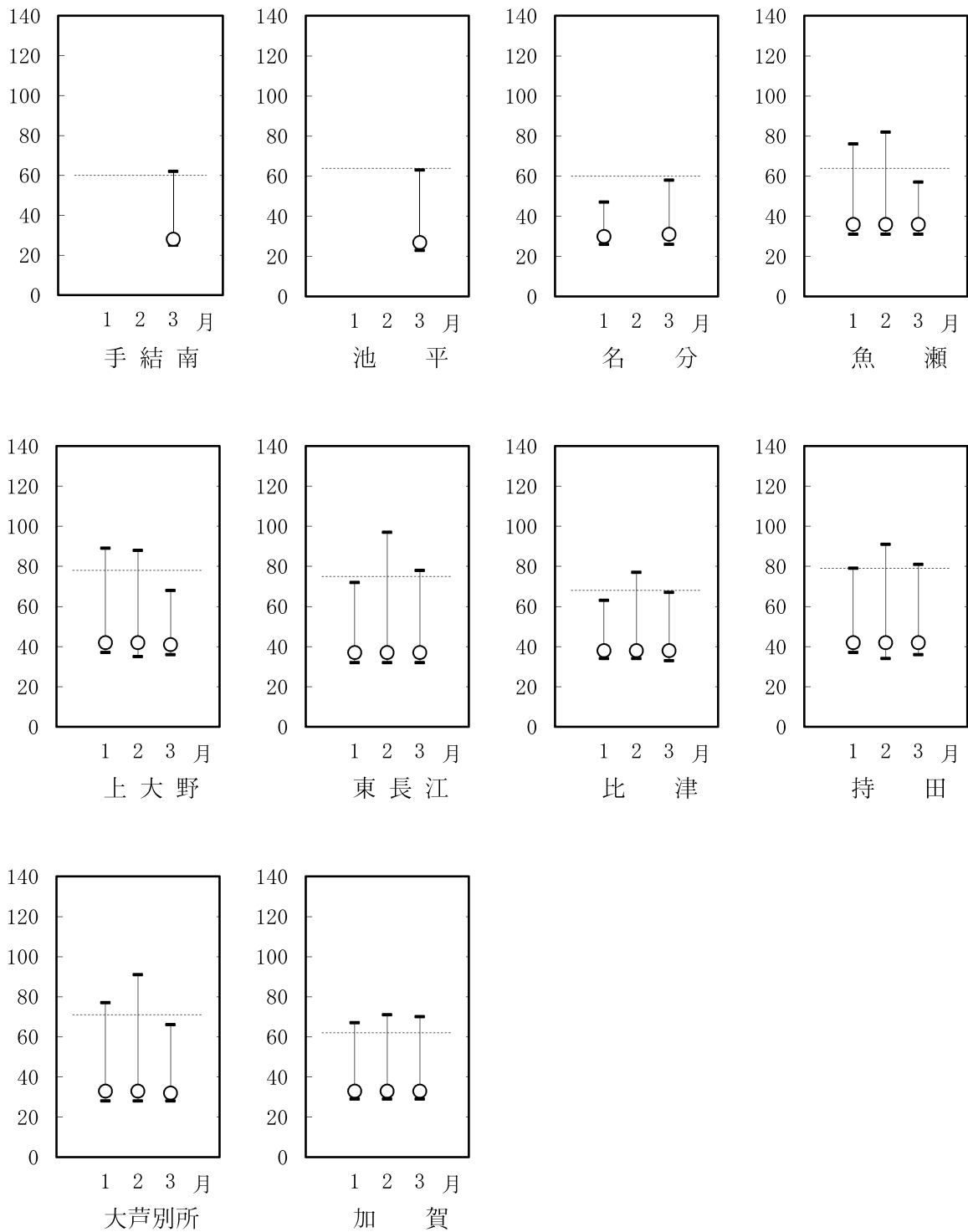
モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値 (単位：nGy/h)

最高値

 平均値

 最低値
 平常の変動幅(上限)

(注) モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上(5年間を上限とする)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値±標準偏差×3)相当の範囲である。



モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

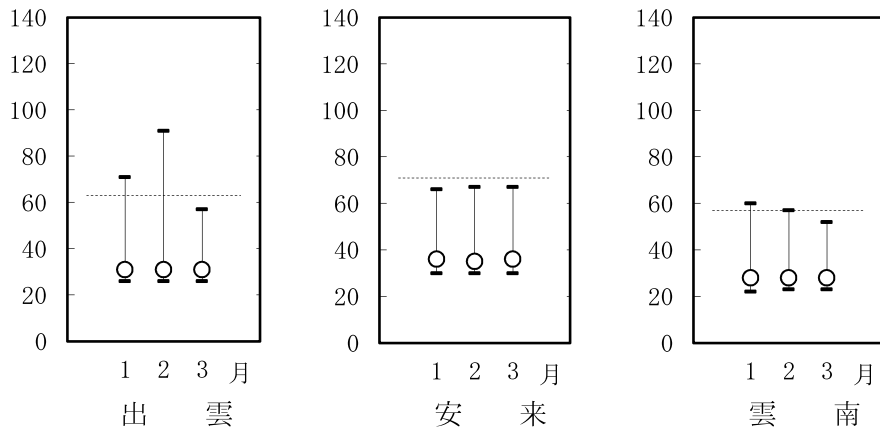
最高値

平均値

最低値

平常の変動幅(上限)

(注) モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上（5年間で上限とする）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。



モニタリングポスト各局の月間の平均値、最高値及び最低値（単位：nGy/h）

┌───┐
 │ │
 ○ │
 │ │
 └───┘

 最高値 平常の変動幅(上限)
 ○ 平均値
 ┌───┐
 │ │
 └───┘
 最低値

(注) モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上（5年間の上限とする）の全データから求めた累積相対度数分布の（平均値±標準偏差×3）相当の範囲である。

環 境 試 料 中 の 放 射 能

ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

試 料 名	測 定 試料数	測 定 結 果						¹³⁷ Cs 平常の変動幅	単 位	
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs			
浮 遊 塵	9	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	μBq/m ³	
牛 乳	原 乳	1	/	/	/	ND	/	ND (¹³¹ I)	mBq/ℓ	
海 生 産 物	な ま こ	2	ND	ND	ND	/	ND	ND	Bq/kg (生)	
	さ ざ え	肉	2	ND	ND	ND	/	ND		ND ~0.04
		内 臓	2	ND	ND	ND	/	ND		ND ~0.04
	あ ら め	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND ~0.10		
	岩 の り	1	ND	ND	ND	ND	/	ND		ND

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

トリチウム

試 料 名	測定試料数	測 定 値	平常の変動幅	単 位	
大 気 水	6	(大 気 中 濃 度)	ND ~4.0	(ND ~8.5) (注2)	mBq/m ³
		(捕 集 水 濃 度)	ND ~0.68	(ND ~0.68) (注2)	Bq/ℓ
海 水	2	ND	ND		

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

2. 平成29年度から測定を開始したため、平成29年度の値を参考値として記載した。

ストロンチウム90

試 料 名	測定試料数	測 定 値	平常の変動幅	単 位
ほうれん草	1	0.05	0.04~0.16	Bq/kg (生)

4. 調査項目別測定結果

(1) 空間放射線

1) 積算線量

単 位 : 【 mGy/90日 】

測定地点	測定値				平常の変動幅	年間線量 (mGy/365日)	測定者
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
一 矢	0.15	0.15	0.14	0.14	0.15～0.15	0.59	中国電力
佐 陀 本 郷	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12～0.13	0.52	〃
深 田	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11～0.12	0.48	〃
片 句	0.14	0.13	0.13	0.13	(0.12～0.13) (注3)	0.54	島根県
	0.13	0.13	0.12	0.12		0.51	中国電力
御 津	0.16	0.15	0.14	0.14	(0.14～0.15) (注4)	0.59	島根県
	0.14	0.15	0.14	0.13		0.57	中国電力
旦 過	0.14	0.14	0.13	0.13	0.13～0.14	0.55	〃
古 浦	0.14	0.13	0.13	0.13	(0.13～0.13) (注4)	0.54	島根県
	0.13	0.13	0.13	0.12		0.52	中国電力
恵 曇	0.12	0.12	0.12	0.11	0.12～0.13	0.48	〃
手 結	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10～0.11	0.43	〃
上 講 武	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14～0.15	0.61	島根県
南 講 武	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12～0.13	0.50	〃
	0.12	0.12	0.12	0.11		0.48	中国電力
佐 陀 宮 内	0.15	0.16	0.15	0.15	0.15～0.15	0.62	島根県
大 芦	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14～0.15	0.60	〃
加 賀	0.13	0.13	0.12	0.13	0.12～0.13	0.51	〃
西 生 馬	0.15	0.16	0.16	0.16	0.15～0.16	0.64	〃
西 川 津	0.13	0.14	0.14	0.14	0.13～0.14	0.56	〃

- (注) 1. 測定方法 蛍光ガラス線量計 (RPLD) で測定した。
 2. 積算線量の「平常の変動幅」は前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. 片句地点は平成25年度に局舎更新に伴って測定地点を変更したため「平常の変動幅」は未設定である。
 なお、参考として平成26～29年度の変動幅を記載した。
 4. 御津地点及び古浦地点は平成26年度に局舎更新に伴って測定地点を変更したため「平常の変動幅」は未設定である。
 なお、参考として平成27～29年度の変動幅を記載した。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		4月	5月	6月	
西 浜 佐 陀	平 均 値	47	48	47	84
	最 高 値	73	82	75	
	最 低 値	42	42	42	
御 津	平 均 値	33	34	33	63
	最 高 値	68	59	59	
	最 低 値	30	29	29	
古 浦	平 均 値	29	30	30	63
	最 高 値	64	60	52	
	最 低 値	26	26	26	
深 田 北	平 均 値	21	22	21	52
	最 高 値	56	51	47	
	最 低 値	18	18	18	
片 匂	平 均 値	26	27	26	59
	最 高 値	64	54	54	
	最 低 値	23	23	23	
北 講 武	平 均 値	28	29	28	68
	最 高 値	70	59	56	
	最 低 値	25	24	24	
佐 陀 本 郷	平 均 値	32	33	32	65
	最 高 値	69	62	56	
	最 低 値	29	28	28	
末 次	平 均 値	36	36	36	63
	最 高 値	54	63	60	
	最 低 値	32	31	31	
大 芦	平 均 値	38	38	38	70
	最 高 値	71	64	66	
	最 低 値	34	34	34	
上 講 武	平 均 値	38	38	37	76
	最 高 値	80	68	65	
	最 低 値	34	33	33	
手 結	平 均 値	44	44	44	71
	最 高 値	76	68	66	
	最 低 値	41	40	40	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3" φ球形NaI (T1) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		4月	5月	6月	
手 結 南	平 均 値	28	28	28	60
	最 高 値	65	55	53	
	最 低 値	24	24	24	
池 平	平 均 値	27	27	26	64
	最 高 値	67	59	54	
	最 低 値	23	22	23	
名 分	平 均 値	30	31	30	60
	最 高 値	65	58	53	
	最 低 値	26	26	26	
魚 瀬	平 均 値	35	35	35	64
	最 高 値	66	65	57	
	最 低 値	30	31	31	
上 大 野	平 均 値	41	42	41	78
	最 高 値	77	72	67	
	最 低 値	36	36	36	
東 長 江	平 均 値	36	37	36	75
	最 高 値	75	71	65	
	最 低 値	31	31	31	
比 津	平 均 値	37	38	37	68
	最 高 値	63	65	61	
	最 低 値	33	32	33	
持 田	平 均 値	41	42	41	79
	最 高 値	69	70	67	
	最 低 値	36	35	35	
大 芦 別 所	平 均 値	32	33	32	71
	最 高 値	75	65	65	
	最 低 値	28	28	28	
加 賀	平 均 値	33	33	33	62
	最 高 値	60	58	59	
	最 低 値	29	28	29	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2" φ円筒形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		4月	5月	6月	
出 雲	平 均 値	31	32	31	63
	最 高 値	50	68	68	
	最 低 値	25	25	26	
安 来	平 均 値	37	35	33	71
	最 高 値	66	69	60	
	最 低 値	32	28	27	
雲 南	平 均 値	29	28	28	57
	最 高 値	52	62	56	
	最 低 値	24	23	23	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2” φ円筒形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、
 50 keV ~ 3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		7月	8月	9月	
西 浜 佐 陀	平 均 値	49	49	48	84
	最 高 値	68	60	104	
	最 低 値	42	41	42	
御 津	平 均 値	33	33	34	63
	最 高 値	50	43	70	
	最 低 値	30	30	30	
古 浦	平 均 値	30	29	30	63
	最 高 値	49	42	69	
	最 低 値	26	26	27	
深 田 北	平 均 値	21	21	22	52
	最 高 値	42	31	61	
	最 低 値	18	19	19	
片 旬	平 均 値	26	26	27	59
	最 高 値	49	34	66	
	最 低 値	23	24	23	
北 講 武	平 均 値	28	28	29	68
	最 高 値	47	44	75	
	最 低 値	24	26	25	
佐 陀 本 郷	平 均 値	32	32	33	65
	最 高 値	52	48	73	
	最 低 値	28	29	29	
末 次	平 均 値	36	36	36	63
	最 高 値	54	41	67	
	最 低 値	31	33	32	
大 芦	平 均 値	38	38	39	70
	最 高 値	55	46	78	
	最 低 値	34	36	34	
上 講 武	平 均 値	38	38	39	76
	最 高 値	57	53	85	
	最 低 値	33	35	34	
手 結	平 均 値	44	44	44	71
	最 高 値	63	49	76	
	最 低 値	40	41	40	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3" φ球形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		7月	8月	9月	
手 結 南	平 均 値	28	28	29	60
	最 高 値	48	36	67	
	最 低 値	24	25	24	
池 平	平 均 値	26	26	28	64
	最 高 値	46	45	72	
	最 低 値	22	23	23	
名 分	平 均 値	30	30	31	60
	最 高 値	48	43	67	
	最 低 値	26	26	26	
魚 瀬	平 均 値	35	35	36	64
	最 高 値	52	41	70	
	最 低 値	30	32	31	
上 大 野	平 均 値	42	43	42	78
	最 高 値	62	52	83	
	最 低 値	36	39	36	
東 長 江	平 均 値	37	39	38	75
	最 高 値	59	56	86	
	最 低 値	31	35	32	
比 津	平 均 値	37	38	38	68
	最 高 値	55	46	81	
	最 低 値	32	34	33	
持 田	平 均 値	41	42	42	79
	最 高 値	59	50	87	
	最 低 値	36	38	34	
大 芦 別 所	平 均 値	32	33	33	71
	最 高 値	51	44	81	
	最 低 値	28	29	27	
加 賀	平 均 値	33	32	34	62
	最 高 値	50	40	65	
	最 低 値	28	29	29	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI (T1) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		7月	8月	9月	
出 雲	平 均 値	32	32	33	63
	最 高 値	59	38	76	
	最 低 値	27	28	27	
安 来	平 均 値	35	34	35	71
	最 高 値	57	44	72	
	最 低 値	27	28	28	
雲 南	平 均 値	28	28	30	57
	最 高 値	53	41	58	
	最 低 値	23	24	24	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		10月	11月	12月	
西 浜 佐 陀	平 均 値	47	48	48	84
	最 高 値	71	65	73	
	最 低 値	42	44	41	
御 津	平 均 値	33	33	34	63
	最 高 値	54	54	53	
	最 低 値	29	30	30	
古 浦	平 均 値	29	30	31	63
	最 高 値	50	49	54	
	最 低 値	27	27	27	
深 田 北	平 均 値	21	22	23	52
	最 高 値	42	45	45	
	最 低 値	18	19	19	
片 旬	平 均 値	26	26	27	59
	最 高 値	46	52	50	
	最 低 値	23	23	23	
北 講 武	平 均 値	28	29	30	68
	最 高 値	59	53	63	
	最 低 値	25	25	25	
佐 陀 本 郷	平 均 値	32	32	33	65
	最 高 値	54	52	55	
	最 低 値	29	29	29	
末 次	平 均 値	36	36	37	63
	最 高 値	51	50	57	
	最 低 値	32	32	32	
大 芦	平 均 値	37	38	39	70
	最 高 値	54	69	63	
	最 低 値	35	35	34	
上 講 武	平 均 値	38	38	39	76
	最 高 値	72	72	64	
	最 低 値	34	33	33	
手 結	平 均 値	43	43	44	71
	最 高 値	59	68	63	
	最 低 値	40	40	40	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3" φ球形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		10月	11月	12月	
手 結 南	平 均 値	29	28	29	60
	最 高 値	49	56	52	
	最 低 値	25	25	24	
池 平	平 均 値	27	27	29	64
	最 高 値	51	50	52	
	最 低 値	23	24	23	
名 分	平 均 値	30	29	31	60
	最 高 値	50	45	50	
	最 低 値	26	25	26	
魚 瀬	平 均 値	35	35	36	64
	最 高 値	51	58	60	
	最 低 値	31	31	32	
上 大 野	平 均 値	41	42	42	78
	最 高 値	65	65	82	
	最 低 値	37	37	37	
東 長 江	平 均 値	37	37	38	75
	最 高 値	67	63	62	
	最 低 値	32	33	32	
比 津	平 均 値	37	38	39	68
	最 高 値	60	53	67	
	最 低 値	34	34	34	
持 田	平 均 値	41	42	43	79
	最 高 値	65	61	66	
	最 低 値	36	36	35	
大 芦 別 所	平 均 値	32	32	33	71
	最 高 値	66	60	61	
	最 低 値	28	28	28	
加 賀	平 均 値	32	33	34	62
	最 高 値	48	62	56	
	最 低 値	28	29	29	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2" φ円筒形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		10月	11月	12月	
出 雲	平 均 値	32	32	32	63
	最 高 値	63	47	57	
	最 低 値	28	28	27	
安 来	平 均 値	36	37	37	71
	最 高 値	53	66	57	
	最 低 値	29	32	28	
雲 南	平 均 値	29	29	29	57
	最 高 値	42	51	53	
	最 低 値	24	23	23	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2” φ円筒形NaI (T1) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、
 50 keV ~ 3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		1月	2月	3月	
西 浜 佐 陀	平 均 値	47	48	48	84
	最 高 値	87	94	77	
	最 低 値	43	43	43	
御 津	平 均 値	33	34	33	63
	最 高 値	71	74	59	
	最 低 値	30	29	30	
古 浦	平 均 値	30	30	30	63
	最 高 値	74	76	63	
	最 低 値	26	26	27	
深 田 北	平 均 値	22	22	21	52
	最 高 値	66	65	53	
	最 低 値	19	19	18	
片 旬	平 均 値	26	27	27	59
	最 高 値	71	74	57	
	最 低 値	23	23	23	
北 講 武	平 均 値	29	29	29	68
	最 高 値	74	84	72	
	最 低 値	25	25	24	
佐 陀 本 郷	平 均 値	32	33	33	65
	最 高 値	73	77	62	
	最 低 値	29	29	29	
末 次	平 均 値	36	36	36	63
	最 高 値	70	80	59	
	最 低 値	32	32	32	
大 芦	平 均 値	38	38	38	70
	最 高 値	78	83	72	
	最 低 値	35	34	34	
上 講 武	平 均 値	38	38	38	76
	最 高 値	80	90	77	
	最 低 値	33	34	34	
手 結	平 均 値	43	43	43	71
	最 高 値	85	87	77	
	最 低 値	40	40	40	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 3”φ球形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3 MeVのエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		1月	2月	3月	
手 結 南	平 均 値	(注5)	(注5)	28 (注7)	60
	最 高 値	(注5)	(注5)	62 (注7)	
	最 低 値	(注5)	(注5)	25 (注7)	
池 平	平 均 値	(注5)	(注5)	27 (注7)	64
	最 高 値	(注5)	(注5)	63 (注7)	
	最 低 値	(注5)	(注5)	23 (注7)	
名 分	平 均 値	30 (注6)	(注5)	31 (注7)	60
	最 高 値	47 (注6)	(注5)	58 (注7)	
	最 低 値	26 (注6)	(注5)	26 (注7)	
魚 瀬	平 均 値	36	36	36	64
	最 高 値	76	82	57	
	最 低 値	31	31	31	
上 大 野	平 均 値	42	42	41	78
	最 高 値	89	88	68	
	最 低 値	37	35	36	
東 長 江	平 均 値	37	37	37	75
	最 高 値	72	97	78	
	最 低 値	32	32	32	
比 津	平 均 値	38	38	38	68
	最 高 値	63	77	67	
	最 低 値	34	34	33	
持 田	平 均 値	42	42	42	79
	最 高 値	79	91	81	
	最 低 値	37	34	36	
大 芦 別 所	平 均 値	33	33	32	71
	最 高 値	77	91	66	
	最 低 値	28	28	28	
加 賀	平 均 値	33	33	33	62
	最 高 値	67	71	70	
	最 低 値	29	29	29	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI (T1) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3 MeV のエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。
 5. ダストヨウ素モニタ設置工事のため欠測とした。
 6. ダストヨウ素モニタ設置工事のため、対象期間は1月1日1:00~1月16日14:00とした。
 7. ダストヨウ素モニタ設置工事のため、対象期間は3月8日16:00~3月31日24:00とした。

2) 線量率

a) モニタリングポストによる測定

単 位 : 【 nGy/h 】

測定地点	区 分	測 定 値			平常の変動幅 (上限)
		1 月	2 月	3 月	
出 雲	平 均 値	31	31	31	63
	最 高 値	71	91	57	
	最 低 値	26	26	26	
安 来	平 均 値	36	35	36	71
	最 高 値	66	67	67	
	最 低 値	30	30	30	
雲 南	平 均 値	28	28	28	57
	最 高 値	60	57	52	
	最 低 値	22	23	23	

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. 測定方法 2”φ円筒形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、50 keV ~ 3 MeV のエネルギー範囲で測定した。
 3. 測定値は、2分値である。
 4. モニタリングポストの「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの2年間以上 (5年間を上限とする) の全データから求めた累積相対度数分布の (平均値±標準偏差×3) 相当の範囲である。

(2) 地表面における人工放射能

1) 人工放射能面密度

単 位 : 【 kBq/m² 】

測 定 地 点	測 定 月 日	対 象 核 種						¹³⁷ Cs 平 常 の 変 動 幅
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	
西 浜 佐 陀	5 月 10 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 5)
御 津	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
古 浦	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND ~ 0.01
深 田 北	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
片 句	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 7)
北 講 武	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	(注 7)
佐 陀 本 郷	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND ~ 0.02
末 次	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	(注 6)
大 芦	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND ~ 0.03
上 講 武	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
手 結	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
手 結 南	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
池 平	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
名 分	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
魚 瀬	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
上 大 野	11 月 7 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
東 長 江	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
比 津	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
持 田	5 月 10 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
大 芦 別 所	11 月 6 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
加 賀	5 月 9 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
出 雲	11 月 7 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
安 来	5 月 10 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)
雲 南	11 月 7 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(注 6)

(注) 1. 測 定 者 島根県

2. 測定方法 ゲルマニウム半導体検出器によるin-situ測定(地上高1m)

3. 対象核種は地表面分布していると仮定した。

4. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲である。

5. 西浜佐陀地点は平成26年度の局舎更新に伴って、環境が変化したため「平常の変動幅」は未設定である。

6. 平成28年度から測定を開始したため「平常の変動幅」は未設定である。

7. 片句地点、北講武地点は平成25年度の局舎更新に伴って、平成26年度から測定地点を変更したため「平常の変動幅」は未設定である。

(3) 環境試料中の放射能

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種

浮遊塵

単位：【 $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 】

採取地点	採取期間	対象核種					天然核種		^{137}Cs 平常の変動幅
		^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{137}Cs	^7Be	^{40}K	
御津	3月30日～5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	6,600	ND	ND
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5,100	ND	
	6月1日～7月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,600	ND	
	7月2日～7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	1,600	ND	
	7月31日～9月3日	ND	ND	ND	ND	ND	1,700	ND	
	9月3日～10月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4,300	ND	
	10月1日～11月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4,900	ND	
	11月1日～12月3日	ND	ND	ND	ND	ND	6,800	ND	
	12月3日～12月27日	ND	ND	ND	ND	ND	5,300	ND	
	12月27日～1月30日	ND	ND	ND	ND	ND	7,100	78	
	1月30日～3月1日	ND	ND	ND	ND	ND	7,600	100	
3月1日～4月1日	ND	ND	ND	ND	ND	7,500	100		
古浦	3月30日～5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	7,000	ND	ND
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5,500	ND	
	6月1日～7月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,900	ND	
	7月2日～7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	1,700	ND	
	7月31日～9月3日	ND	ND	ND	ND	ND	2,100	ND	
	9月3日～10月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4,700	ND	
	10月1日～11月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5,300	ND	
	11月1日～12月3日	ND	ND	ND	ND	ND	7,200	ND	
	12月3日～12月27日	ND	ND	ND	ND	ND	5,500	ND	
	12月27日～1月30日	ND	ND	ND	ND	ND	6,800	ND	
	1月30日～3月1日	ND	ND	ND	ND	ND	7,100	80	
3月1日～4月1日	ND	ND	ND	ND	ND	7,000	80		
西浜佐陀	3月30日～5月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5,200	ND	(ND) (注4)
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4,100	ND	
	6月1日～7月2日	ND	ND	ND	ND	ND	3,900	ND	
	7月2日～7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	1,900	ND	
	7月31日～9月3日	ND	ND	ND	ND	ND	2,000	ND	
	9月3日～10月1日	ND	ND	ND	ND	ND	4,800	ND	
	10月1日～11月1日	ND	ND	ND	ND	ND	5,300	ND	
	11月1日～12月3日	ND	ND	ND	ND	ND	6,900	ND	
	12月3日～12月27日	ND	ND	ND	ND	ND	5,600	ND	
	12月27日～1月30日	ND	ND	ND	ND	ND	6,800	ND	
	1月31日～2月27日	ND	ND	ND	ND	ND	7,200	84	
2月27日～4月1日	ND	ND	ND	ND	ND	7,200	68		

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. NDは検出下限値未満を示す。
 3. ^{137}Cs 「平常の変動幅」は平成18～22年度及び平成25～29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 4. 西浜佐陀地点については、平成20年度より測定を開始したため、平成20～22年度及び平成25～29年度の値を参考値として記載した。

陸 水

単 位 : 【 mBq/ℓ 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K		
池 水	表 層 水	一 矢 (注3)	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	9.8	67	島根県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	12	60	中国電力	
		上 講 武	5月23日	ND	ND	ND	ND	ND	10	40	〃	ND
		西 谷 (注3)	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	22	27	島根県	(ND) (注4)
				ND	ND	ND	ND	ND	12	28	中国電力	
			11月20日	ND	ND	ND	ND	ND	34	32	島根県	
				ND	ND	ND	ND	ND	57	24	中国電力	
水 道 原 水	着 水 井	忌 部 浄 水 場 (注3)	5月29日	ND	ND	ND	ND	ND	24	45	島根県	ND
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	45	中国電力	
			11月20日	ND	ND	ND	ND	ND	45	46	島根県	
				ND	ND	ND	ND	ND	43	42	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成18～22年度及び平成25～29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 同一地点で各測定者が採取し、各測定者が前処理を実施し、測定している。
 4. 平成29年度から測定を開始したため、平成29年度の値を参考値として記載した。

植 物

単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対 象 核 種						天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K		
松 葉	2 年 葉	御 津	4月27日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	42	67	島根県	ND～0.06
		西浜佐陀	7月31日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	28	57	〃	(ND～0.13) (注3)
		深 田 北	10月17日	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	41	64	〃	(ND～0.07) (注3)
				ND	ND	ND	ND		ND	41	66	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成18～22年度及び平成25～29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 西浜佐陀地点及び深田北地点の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成27年度より測定を開始したため、平成27～29年度の値を参考値として記載した。

農 産 物

単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対 象 核 種						天然核種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K		
大根	根	御 津	12月10日	ND	ND	ND	ND		ND	0.32	76	島根県	ND
		根連木	4月16日	ND	ND	ND	ND		ND	0.55	85	中国電力	ND
			12月3日	ND	ND	ND	ND		ND	0.30	85	島根県	
ほうれん草	葉	御 津	12月10日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	160	〃	ND
		根連木 (注3)	12月2日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.0	200	〃	ND ~ 0.03
				ND	ND	ND	ND		ND	7.7	210	中国電力	
キャベツ	葉	御 津	5月9日	ND	ND	ND	ND		ND	0.15	58	島根県	ND
		根連木	5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	0.24	70	〃	ND ~ 0.01
精米		尾 坂 (注3)	10月17日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	26	〃	ND
				ND	ND	ND	ND		ND	ND	25	中国電力	
茶	葉	北講武 (注3)	5月8日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	34	120	島根県	ND ~ 0.06
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	37	130	中国電力	

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成18~22年度及び平成25~29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 同一地点で採取された試料を分割し、各測定者が前処理を実施し、測定している。

牛 乳

単 位 : 【 mBq/ℓ 】

試 料 名	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種		測 定 者	
			¹³¹ I			
原 乳	南 講 武	4 月 12 日 (注 3)	ND		島 根 県	
			ND		中 国 電 力	
		7 月 27 日	ND		島 根 県	
			10 月 18 日	ND		〃
				ND		中 国 電 力
1 月 23 日	ND		島 根 県			

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³¹Iのみが測定対象である。
 3. 同一地点で採取された試料を分割し、各測定者が前処理を実施し、測定している。

陸 土 (濃 度)

単 位 : 【 Bq/kg(乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅	
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K			
表 層 土 (0~5cm)	南 講 武	5 月 24 日	ND	ND	ND	ND	1.0	ND	240	島 根 県	0.79~2.1	
	片 句	5 月 24 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	640	〃	(ND~2.7) (注 4)	
	佐 陀 宮 内 (注 5)	5 月 23 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	480	〃	ND~27
			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	500	中 国 電 力	
	西 浜 佐 陀	5 月 23 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	690	島 根 県	(ND~3.5) (注 6)

陸 土 (面 密 度)

単 位 : 【 kBq/m² 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅	
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be				
表 層 土 (0~5cm)	南 講 武	5 月 24 日	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	島 根 県	0.03~0.11	
	片 句	5 月 24 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	〃	(ND~0.14) (注 4)	
	佐 陀 宮 内 (注 5)	5 月 23 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	〃	ND~1.4
			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	中 国 電 力		
	西 浜 佐 陀	5 月 23 日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	島 根 県	(ND~0.12) (注 6)

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成18~22年度及び平成25~29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 面密度の表は、濃度の表の値を換算したものである。
 4. 片句地点の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成20年度より採取ポイントを移動したため、平成20~22年度及び平成25~29年度の値を参考値として記載した。
 5. 同一地点で各測定者が採取し、各測定者が前処理を実施し、測定している。
 6. 西浜佐陀地点の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成20年度より測定を開始したため、平成20~22年度及び平成25~29年度の値を参考値として記載した。

海 水

単 位 : 【 mBq/ℓ 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
表 層 水	1 号機放水口 (注4)	4月24日	ND	ND	ND	ND	2.1	島根県	0.84~2.5
			ND	ND	ND	ND	1.4	中国電力	
		10月16日	ND	ND	ND	ND	1.9	島根県	
			ND	ND	ND	ND	1.6	中国電力	
	2号機放水口付近	4月17日	ND	ND	ND	ND	2.2	島根県	ND~2.4
		10月9日	ND	ND	ND	ND	1.4	中国電力	
	3号機放水口付近	4月17日	ND	ND	ND	ND	1.7	島根県	(1.1~2.4) (注5)
		10月9日	ND	ND	ND	ND	1.7	中国電力	
	取 水 口	4月24日	ND	ND	ND	ND	1.5	〃	1.3~2.8
		10月16日	ND	ND	ND	ND	1.8	〃	
	1号機放水口沖	4月17日	ND	ND	ND	ND	1.9	島根県	1.4~2.3
		10月10日	ND	ND	ND	ND	2.0	〃	
	2・3号機放水口沖	4月17日	ND	ND	ND	ND	1.8	〃	1.3~2.4
		10月10日	ND	ND	ND	ND	1.6	〃	
手 結 沖	4月17日	ND	ND	ND	ND	1.5	〃	ND~2.2	
	10月11日	ND	ND	ND	ND	1.5	中国電力		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成18~22年度及び平成25~29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 天然核種 (⁷Be、⁴⁰K) は、試料調製過程で除去され測定出来ない。
 4. 同一地点で各測定者が採取し、各測定者が前処理を実施し、測定している。
 5. 3号機放水口付近については、平成21年度より測定を開始したため、平成21~22年度及び平成25~29年度の値を参考値として記載した。

海 底 土

単 位 : 【 Bq/kg(乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					天 然 核 種		¹³⁷ Cs 平常の変動幅
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	
表 層 底 質	1 号機放水口沖	4月19日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	ND
	2・3号機放水口沖	4月19日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	87	ND
	手 結 沖	4月19日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	240	ND

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. NDは検出下限値未満を示す。
 3. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成18~22年度及び平成25~29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。

海産生物（１）

単 位：【 Bq/kg(生) 】

試料名	部 位	採 取 地 点	採取月日	対 象 核 種					天 然 核 種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K		
かさこ	肉	発電所付近 沿	4月27日 6月5日	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	94	島根県	0.06~0.12
なまこ	肉	1号機放水口湾付近	1月21日	ND	ND	ND	ND	ND	0.62	20	〃	ND(注3)
		宮崎鼻付近	2月18日	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	21	〃	ND(注4)
さびえ	肉	1号機放水口湾 付 近	4月10日	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	100	〃	ND~0.04 (注5)
			7月12日	ND	ND	ND	ND	ND	0.87	76	〃	
			10月15日	ND	ND	ND	ND	ND	0.95	80	〃	
			1月15日	ND	ND	ND	ND	ND	0.73	79	〃	
		宮 崎 鼻 付 近	4月13日	ND	ND	ND	ND	ND	0.75	85	〃	ND~0.04 (注6)
			8月6日	ND	ND	ND	ND	ND	0.53	76	〃	
			11月7日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	76	〃	
			2月12日	ND	ND	ND	ND	ND	0.49	91	〃	
	内臓	1号機放水口湾 付 近	4月10日	ND	ND	ND	ND	ND	3.8	58	〃	ND (注5)
			7月12日	ND	ND	ND	ND	ND	4.8	56	〃	
			10月15日	ND	ND	ND	ND	ND	4.3	45	〃	
			1月15日	ND	ND	ND	ND	ND	3.6	44	〃	
宮 崎 鼻 付 近		4月13日	ND	ND	ND	ND	ND	2.8	56	〃	ND~0.04 (注6)	
		8月6日	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	41	〃		
		11月7日	ND	ND	ND	ND	ND	1.7	38	〃		
		2月12日	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	54	〃		
むらさきいがい	むき身	1号機放水口湾 付 近	7月19日	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	51	〃	ND~0.04
				ND	ND	ND	ND	ND	1.9	53	中国電力	
	宮 崎 鼻 付 近	(注7)								島根県	ND	
										中国電力		
	浜 田 市	7月15日	ND	ND	ND	ND	ND	1.4	31	島根県	ND	
			ND	ND	ND	ND	ND	1.0	26	〃	ND	
	松 江 市 美 保 関 町	7月11日	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	26	〃		
			ND	ND	ND	ND	ND	1.1	26	中国電力		

- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成18~22年度及び平成25~29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 1号機放水口湾付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成18~21年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成18~21年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなし決定した。
 4. 宮崎鼻付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成18~21年度は1号機放水口湾付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成18~21年度の混合試料の測定結果を宮崎鼻付近の値とみなし決定した。
 5. 1号機放水口湾付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成18年度は宮崎鼻付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成18年度の混合試料の測定結果を1号機放水口湾付近の値とみなし決定した。
 6. 宮崎鼻付近の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成18年度は1号機放水口湾付近採取試料との混合試料として測定を行っていたため、平成18年度の混合試料の測定結果を宮崎鼻付近の値とみなし決定した。
 7. 第2四半期採取予定であったが、採取できなかったため、欠測とした。

海産生物（２）

単 位：【 Bq/kg(生) 】

試料名	部 位	採 取 地 点	採取月日	対 象 核 種						天然核種		測 定 者	¹³⁷ Cs 平常の変動幅	
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K			
あらめ	仮根を除く	1号機放水口湾近付	6月26日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.63	240	島根県	ND～0.10	
			10月15日	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	3.7	260	〃		
		宮付 崎 鼻近	7月27日(注3)	ND	ND	ND	ND	/	0.10	1.7	200	〃	ND～0.10	
			3月30日(注4)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.99	350	中国電力		
		宮付 崎 鼻近部海底(注5)	6月26日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.68	300	島根県	ND～0.09	
				ND	ND	ND	ND	/	ND	0.83	300	中国電力		
わかめ	仮根を除く	1号機放水口湾近付(注5)	4月10日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.3	200	島根県	ND	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	250	中国電力		
岩のり	全体	1号機放水口湾近付	1月15日	ND	ND	ND	ND	/	ND	0.89	160	島根県	ND	
ほんだわら類	仮根を除く	1号機放水口湾近付(注5)	6月26日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.1	360	〃	ND	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.3	320	中国電力		
		宮付 崎 鼻近(注5)	3月19日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.3	220	島根県	ND～0.07	
				ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.96	220	中国電力		
		輪 谷 湾(注5)	(注6)										島根県	ND～0.08
													中国電力	
		浜 田 市	7月16日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.8	280	島根県	(ND) (注7)	
		松 江 市 美保関町(注5)	7月11日	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.9	340	〃	(ND) (注7)	
				ND	ND	ND	ND	/	ND	4.8	380	中国電力		

- (注) 1. NDは検出下限値未滿を示す。
 2. ¹³⁷Cs「平常の変動幅」は平成18～22年度及び平成25～29年度の10年間の最小値から最大値までの範囲である。平成23・24年度の値については福島第一原子力発電所における事故の影響のため除外している。
 3. 第1四半期採取予定であったが、採取できなかったため、第2四半期に採取した。
 4. 第3四半期採取予定であったが、採取できなかったため、第4四半期に採取した。
 5. 同一地点で採取された試料を分割し、各測定者が前処理を実施し、測定している。
 6. 第1四半期採取予定であったが、採取できなかったため、欠測とした。
 7. 浜田市および松江市美保関町のほんだわら類の¹³⁷Cs「平常の変動幅」は、平成19年度から測定を開始したため、平成19～22年度及び平成25～29年度の値を参考値として記載した。

2) トリチウム

試料名	採取地点	採取期間	大気中濃度 (mBq/m ³)	捕集水濃度 (Bq/l)	大気中濃度 平常の変動幅 (mBq/m ³)	捕集水濃度 平常の変動幅 (Bq/l)
大気水	深田北	3月30日～5月1日	3.4	0.41	(ND～8.1) (注3)	(ND～0.58) (注3)
		5月1日～6月1日	6.1	0.57		
		6月1日～7月2日	6.1	0.41		
		7月2日～7月31日	ND	ND		
		7月31日～9月3日	ND	ND		
		9月3日～10月1日	ND	ND		
		10月1日～11月1日	3.0	0.29		
		11月1日～12月3日	2.3	0.29		
		12月3日～12月27日	ND	ND		
		12月27日～1月30日	2.0	0.43		
		1月30日～3月1日	ND	ND		
		3月1日～4月1日	4.0	0.68		
	北講武	3月30日～5月1日	3.7	0.44	(2.2～8.5) (注3)	(0.29～0.68) (注3)
		5月1日～6月1日	7.0	0.62		
		6月1日～7月2日	6.0	0.39		
		7月2日～7月31日	ND	ND		
		7月31日～9月3日	ND	ND		
		9月3日～10月1日	5.3	0.32		
		10月1日～11月1日	3.7	0.35		
		11月1日～12月3日	ND	ND		
		12月3日～12月27日	3.0	0.45		
		12月27日～1月30日	2.3	0.49		
		1月30日～3月1日	ND	ND		
3月1日～4月1日	3.8	0.61				

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. NDは検出下限値未満を示す。
 3. 平成29年度から測定を開始したため、平成29年度の値を参考値として記載した。

単 位 : 【 Bq/ℓ 】

試 料 名	部 位	採 取 地 点	採取月日	測 定 値	測 定 者	平常の変動幅		
海 水	表層水	1 号機放水口沖	4 月 17 日	ND	島 根 県	ND		
				ND	中国電力			
			7 月 26 日	ND	島 根 県			
				10 月 10 日	ND		〃	
			1 月 30 日	ND	島 根 県			
		2・3号機放水口沖	4 月 17 日	ND	〃	ND		
				ND	中国電力			
			7 月 26 日	ND	島 根 県			
				10 月 10 日	ND		〃	
			1 月 30 日	ND	島 根 県			
		手 結 沖	4 月 17 日	ND	〃	ND		
			10 月 11 日	ND	中国電力			
		陸 水	池 水	一 (注3) 矢	5 月 29 日	0.30	島 根 県	ND ~0.53
						0.40	中国電力	
				西 (注3) 谷	5 月 29 日	0.29	島 根 県	(ND ~0.32) (注4)
0.37	中国電力							
11 月 20 日	0.27				島 根 県			
	ND				中国電力			

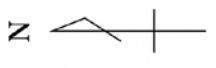
- (注) 1. NDは検出下限値未満を示す。
 2. 「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 3. 同一地点で各測定者が採取し、各測定者が前処理を実施し、測定している。
 4. 平成29年度から測定を開始したため、平成29年度の値を参考値として記載した。

3) ストロンチウム 90

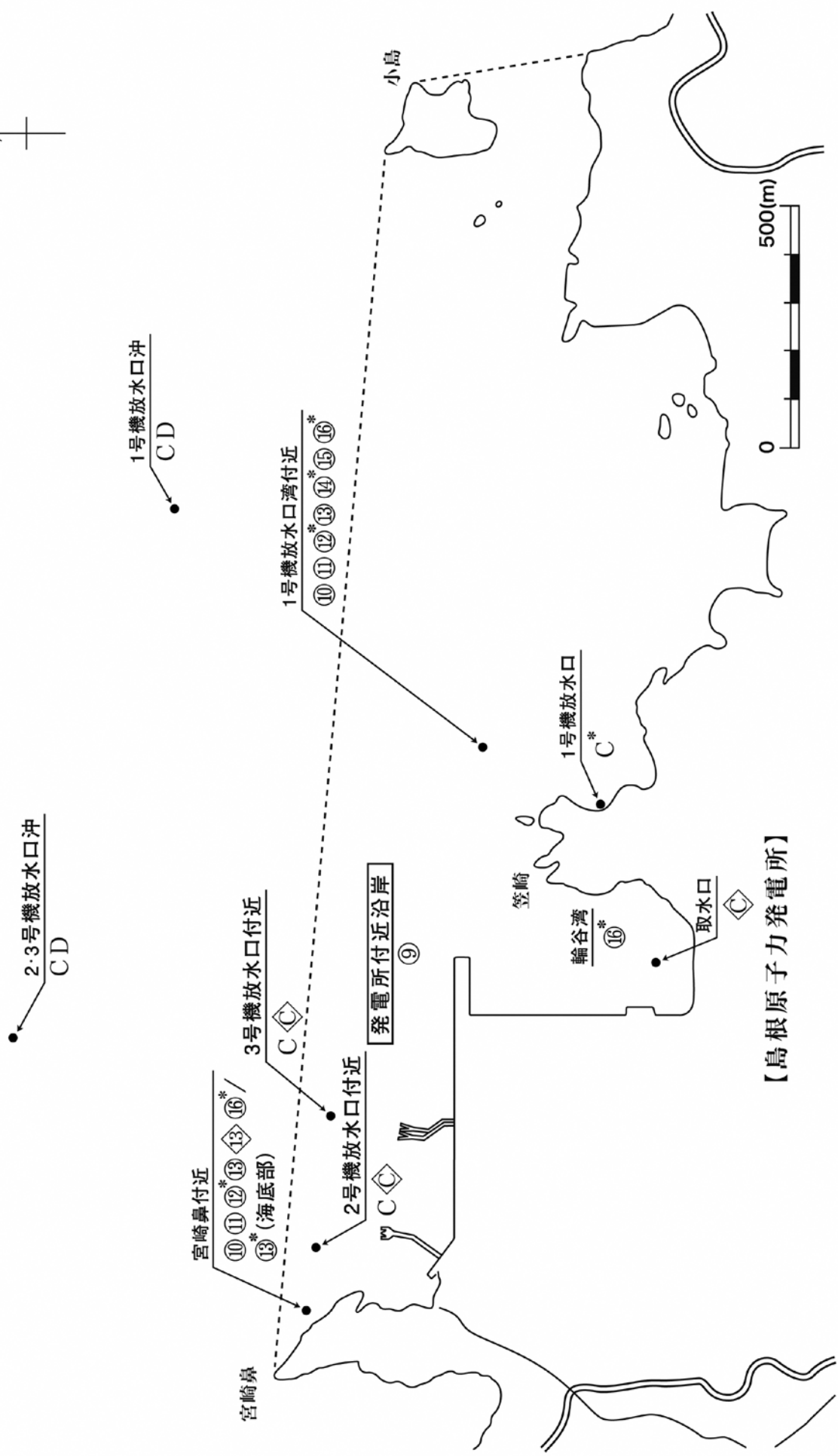
試料名		部位	採取地点	採取月日	測定値	単位	平常の変動幅
植物	松葉	2年葉	御津	4月27日	8.0	Bq/kg (生)	2.5~13
農産物	ほうれん草	葉	御津	12月10日	0.05		0.04~0.16
	茶	葉	北講武	5月8日	0.11		0.19~1.0
陸土		表層土 (0~5cm)	佐陀宮内	5月23日	0.39	Bq/kg (乾物)	0.45~3.6
					0.02	kBq/m ²	0.02~0.14
海水		表層水	1号機放水口沖	4月17日	1.5	mBq/l	ND~2.6
海産生物	さざえ	肉	1号機放水口湾付近	4月10日	ND	Bq/kg (生)	ND
			宮崎鼻付近	4月13日	ND		ND
	あらめ	仮根を除く	宮崎鼻付近	7月27日 (注4)	ND		(ND) (注5)
	わかめ	〃	1号機放水口湾付近	4月10日	ND		ND~0.13

- (注) 1. 測定者 島根県
 2. NDは検出下限値未満を示す。
 3. 「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲である。
 4. 第1四半期採取予定であったが、採取できなかったため、第2四半期に採取した。
 5. 宮崎鼻付近のあらめについては、平成22年度から測定を開始したため、平成22~29年度の値を参考値として記載した。

付図 2 環境放射線測定地点(海域拡大図)

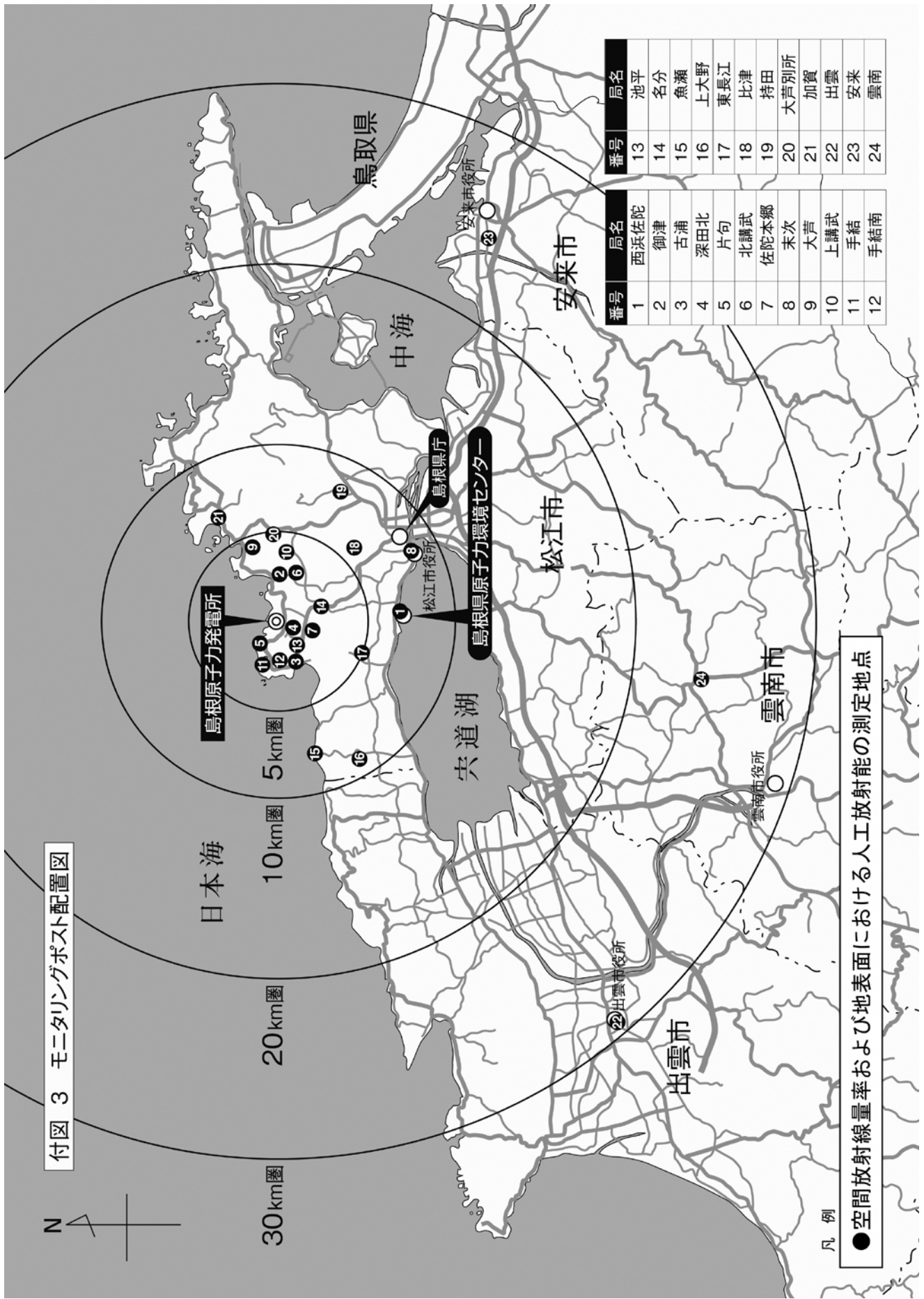


- (注) 1. 凡例は、付図1と共通
 2. 試料は、γ線スペクトロメトリ法のみを示す



【島根原子力発電所】

付図 3 モニタリングポスト配置図



番号	局名
1	西浜佐陀
2	御津
3	古浦
4	深田北
5	片匂
6	北講武
7	佐陀本郷
8	末次
9	大芦
10	上講武
11	手結
12	手結南
13	池平
14	名分
15	魚瀬
16	上大野
17	東長江
18	比津
19	持田
20	大芦別所
21	加賀
22	出雲
23	安来
24	雲南

● 空間放射線量率および地表面における人工放射能の測定地点

凡例

II 温排水関係

調査内容

平成31年1月～3月の調査内容は次のとおりである。

1. 調査機関 島根県、中国電力株式会社

2. 調査項目及び測定方法

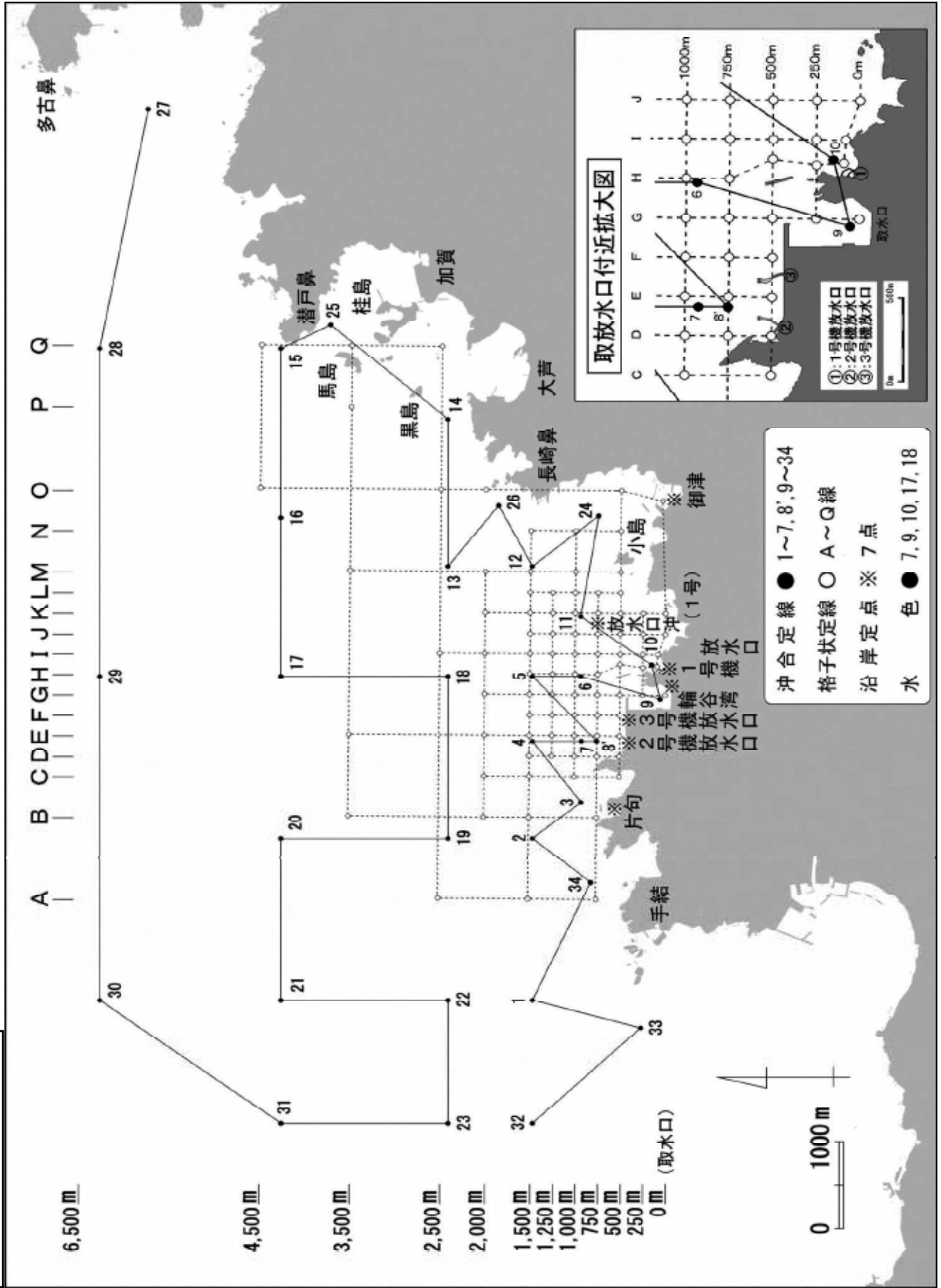
測定項目	測定点	測定水深	測定方法	測定回数	資料整理	実施者	
水温	沖合定線 34点	0～20m 1m間隔 25m 30m～海底 10m間隔	可搬式水温計による測温	年 4回	1. 測定温度表 2. 水温水平分布図 3. 水温鉛直分布図	島根県	
	沿岸 定点	放水口沖 (1号)	0～海底 (水深約20m) 1m間隔	可搬式水温計による測温	毎月 3回	測定日の10時データの表	中国電力
	7点	1号機放水口 2号機放水口 3号機放水口 輪谷湾 片 匂 御 津	1m 1m 4m 1m・3m 1m・3m 1m・3m	常設水温計による自動記録	連続	1. 毎日の10時データの表 2. 沖合定線測定日の毎時データの表	
	格子状定線 89点	0～20m 1m間隔 25m 30m～海底 10m間隔	可搬式水温計による測温	年 4回	1. 測定温度表 2. 水温水平分布図 3. 水温鉛直分布図	中国電力	
水色	沖合定線の測定点 7・9・10・17・18		フォーレルの水色計による観測	年 4回	フォーレルの水色標準液番号の表	島根県	

温排水測定地点は温排水測定定点図のとおり。

3. 今期の島根原子力発電所の運転状況

- 1号機（廃止措置中、定格出力：46万kW、放水方式：表層放水）
 - ・放水量 1月1日～3月31日 $1 \text{ m}^3 / \text{s}$
- 2号機（施設定期検査中、定格出力：82万kW、放水方式：水中放水）
 - ・放水量 1月1日～3月31日 $25 \text{ m}^3 / \text{s}$
 - ・発電状況 1月1日～3月31日 第17回施設定期検査のため発電停止
- 3号機（建設中、定格出力：137.3万kW、放水方式：水中放水）
 - ・放水量 1月1日～3月31日 $3 \text{ m}^3 / \text{s}$
(燃料装荷前の検査段階で温排水の放出はなし)

温排水测定定点图



4. 評価と調査結果の概要

評価

今期の調査結果について、各々の測定項目ごとに温排水の影響に関する詳細な検討を行ったところ、温排水に起因すると想定される状況は認められなかった。

調査結果の概要

今期の島根原子力発電所の稼働状況は1号機が廃止措置中、2号機は第17回施設定期検査中のため停止中、さらに3号機は建設中で、全号機で原子炉の稼働に伴う温排水の放水はなかった。

沖合定線調査では調査海域内に基準水温より0.5℃以上高い値は観測しなかった。

格子状定線調査においても基準水温より1℃以上高い水塊は確認されなかった。

(1) 沖合定線 [測定年月日；平成 31年1月30日]

○ 測定日の島根原子力発電所の運転状況 (10時)

	1号機 (廃止措置中)	2号機	3号機 (建設中)
発電出力 (万 kW)	—	0	—
放水量 (m ³ /s)	1	25	3
放水口水温 (℃)	14.4	14.5	14.8
温度上昇 (℃)	0.0	0.0	0.3

○ 測定日の気象・海象 (9時30分 ~ 14時10分)

天 候	晴れ～快晴
気温 (℃)	6.5～10.9
風 向	南東～西
風速 (m/s)	2～9.4
風 浪	鏡のようになめらかである～やや波がある
うねり	うねりがない～短くやや高いうねり (波高2m～4m)

a. 水温測定結果

8時50分 ~ 14時51分

最高水温は 14.7℃ (定点17 の 0m 他244点)

最低水温は 13.9℃ (定点24 の 17m 他2点)

基準水温は

水深層	基準水温	水深層	基準水温	水深層	基準水温
0 m	14.6℃	10 m	14.6℃	20 m	14.6℃
1 m	14.7℃	11 m	14.6℃	25 m	14.6℃
2 m	14.7℃	12 m	14.6℃	30 m	14.6℃
3 m	14.7℃	13 m	14.6℃	40 m	14.5℃
4 m	14.7℃	14 m	14.6℃	50 m	14.6℃
5 m	14.7℃	15 m	14.6℃	60 m	14.5℃
6 m	14.7℃	16 m	14.6℃	70 m	14.5℃
7 m	14.7℃	17 m	14.6℃	80 m	14.6℃
8 m	14.6℃	18 m	14.6℃		
9 m	14.6℃	19 m	14.6℃		

(基準水温とは定点15、16、17、20、21の水深別の平均値)

観測された最高水温(14.7℃)は、過去10ヶ年の第三四半期(以下「過去の」という)の測定範囲(12.7～22.1℃)の範囲内にあったが、最低水温(13.9℃)については過去の測定範囲(10.9～13.6℃)を0.3℃超えた。

[資料1-1「島根原子力発電所 沖合定線の水温」P.42参照]

b. 出現水温の観測状況（水温水平分布、水温鉛直分布）

【水温水平分布】

- 水温が基準水温より1℃以上高かった定点
なし
- 水温が基準水温より0.5℃以上1℃未満高かった定点
なし

〔資料1-2「島根原子力発電所 沖合定線の水温水平分布図」P.43参照〕

【水温鉛直分布】

- 水温が基準水温より1℃以上高かった水深層の水温範囲
なし
- 水温が基準水温より0.5℃以上1℃未満高かった水深層の水温範囲
なし

〔資料1-3「島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図」P.44参照〕

【過去の出現範囲との比較】

今回調査では0.5℃以上高い値は観測しなかった。

〔資料1-4「基準水温より水温が高かった点の過去の出現範囲」P.45参照〕

(2) 格子状定線 [測定年月日；平成31年2月22日]

○測定日の島根原子力発電所の運転状況 (10時)

	1号機(廃止措置中)	2号機	3号機(建設中)
発電出力(万kW)	-	0	-
放水量(m ³ /s)	1	25	3
放水口水温(°C)	14.0	13.7	13.9
温度上昇(°C)	0.3	0.0	0.2

(1,3号機の放水量は補機冷却系の運転によるもの)

○測定日の気象・海象

	第1回(10時05分)	第2回(12時55分)
天候	晴	晴
気温(°C)	10.2	10.2
風向	南東	北東
風速(m/s)	3.0	6.3
風浪	なめらか、小波がある	やや波がある

a. 水温測定結果

第1回 9時30分～11時03分

最高水温は 14.0°C (定線A・距離2500m・8m層,他9点)

最低水温は 13.1°C (定線0・距離0m・3m層)

[資料2-1「島根原子力発電所 格子状定線の水温」(第1回)P.46～P.47参照]

第2回 11時51分～13時33分

最高水温は 14.0°C (定線C・距離1000m・0m層,他89点)

最低水温は 13.3°C (定線0・距離0m・1m層,他7点)

[資料2-1「島根原子力発電所 格子状定線の水温」(第2回)P.48～P.49参照]

b. 温排水の拡散状況(水温水平分布、水温鉛直分布)

基準水温より1°C以上高い水温上昇域は、1回目、2回目共に確認されなかった。

[資料2-2「島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図」P.50～P.51参照]

[資料2-3「島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図」P.52～P.53参照]

(3) 沿岸定点〔測定年月日；平成31年1月1日～3月31日〕

a. 水温測定結果（10時データ）

単位：℃

	1月		2月		3月	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低
放水口沖 (1号)	15.8 (13.8～17.2)	14.7 (12.5～14.4)	14.4 (12.3～16.9)	13.7 (10.5～13.4)	14.5 (12.2～17.2)	13.6 (11.5～15.2)
1号機放水口	16.3 (14.2～25.5)	14.3 (12.2～23.4)	14.7 (12.8～23.7)	13.7 (10.4～23.0)	14.9 (13.1～24.4)	13.9 (10.8～23.1)
2号機放水口	16.1 (14.9～22.9)	14.3 (12.9～19.8)	14.5 (13.3～20.4)	13.5 (11.0～18.7)	14.7 (13.3～20.6)	13.6 (11.5～18.5)
3号機放水口	16.8 (16.6)	14.7 (14.0)	14.8 (14.3)	13.8 (13.3)	15.2 (14.4)	14.0 (13.1)
輪谷湾	15.9 (14.0～16.2)	14.0 (12.0～13.5)	14.1 (12.5～13.9)	13.2 (10.4～13.0)	14.6 (12.8～14.6)	13.3 (10.8～13.2)
片 句	15.8 (13.8～15.8)	13.8 (11.6～13.2)	13.9 (12.1～13.6)	12.9 (10.2～12.5)	14.1 (12.5～14.1)	12.8 (10.9～12.5)
御 津	15.1 (13.0～15.1)	13.2 (10.1～12.0)	13.7 (11.9～13.6)	12.2 (9.2～11.8)	14.5 (12.7～14.8)	12.3 (9.6～12.2)

- 注) 1. 放水口沖（1号）の水温は、月3回（上旬、中旬、下旬）の測定値
 2. 3号機放水口を除く表中（ ）内は、過去10ヶ年の同月水温の観測範囲（最低～最高）
 3. 表中 部分は、過去10ヶ年の同月水温の観測水温の最高値を超えたもの
 4. 3号機放水口の表中（ ）内は、前年度の同月水温

〔資料3-1「島根原子力発電所 沿岸定点の水温」P.54～P.56参照〕

〔資料3-2「島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移」P.57参照〕

過去10ヶ年の同月水温の観測水温（最高）と比較して、2月に輪谷湾、片句、御津の3定点の最高が、1月に放水口沖、輪谷湾、片句、御津の4定点、2月に放水口沖、輪谷湾、片句、御津の4定点、3月に輪谷湾、片句、御津の3定点の最低が過去値を上回っていた。これ以外の観測定点の水温は、過去10ヶ年の同月水温の観測水温（最高）以下であった。

沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果は資料3-3「島根原子力発電所沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果」（P.58参照）のとおり。

b. 取水－放水温度差（温度上昇）

単位：℃

	1月	2月	3月
1号機	0.0～0.2	0.0～0.3	0.1～0.5
2号機	0.0～0.4	0.0～0.1	0.0～0.1
3号機(建設中)	0.3～0.7	0.1～0.5	0.3～0.7

注) 1号機放水量は 1月1日～3月31日 $1 \text{ m}^3 / \text{s}$

2号機放水量は 1月1日～3月31日 $25 \text{ m}^3 / \text{s}$

3号機放水量は 1月1日～3月31日 $3 \text{ m}^3 / \text{s}$

(燃料装荷前の検査段階で温排水の放出はなし)

(4) 水色〔測定年月日；平成 31年1月30日〕

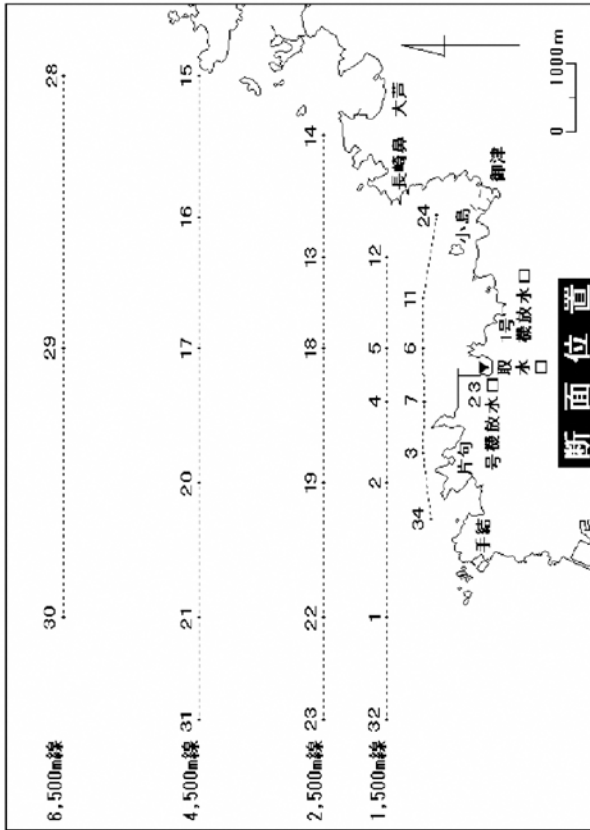
定点	7	9 (取水口前)	10 (1号機放水口 前)	17	18
時刻	10時26分	—	10時30分	10時40分	12時41分
水色	3	—	3	3	3

観測された水色はいずれの定点も過去10ヶ年の第4四半期の観測範囲（水色2～5）にあった。
またこれは、内湾等を除く日本近海の水色分布の範囲（水色2～6）内である。

（出典 海洋の事典 東京堂出版）

水色について：測定に使用しているフォーレルの水色計では水色は1から11まであり、1は澄んだ海を表す青色で数字が大きくなるほど濁った海水を表す黄色がかった色になります。

基準水温より0.5℃以上高い定点は
どの水深層でも確認されなかった



島根原子力発電所 沖合定線の水温鉛直分布図 (基準水温との温度差) 平成31年1月30日

基準水温より水温が高かった定点の過去の出現範囲(平成20~29年度の第4四半期)

は今回基準水温より高かった定点

区分	水深	定 点 番 号																																				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
1 °C 以上	0				*		*	*		*	*	*												*														
	1				*	*		*	*		*	*												*														
	2							*	*		*																											
	3							*																														
	4																																					
	5																																					
	6																																					
	7																																					
	8																																					
	9																																					
	10																																					
	11																																					
	12																																					
	13																																					
	14																																					
	15																																					
	16																																					
	17																																					
	18																																					
	19																																					
20																																						
25																																						
30																																						
40																																						
50																																						
60																																						
70																																						
80																																						
0 ・ 5 °C 以上 1 °C 未 満	0				*	*	*	*	*		*	*	*						*	*		*						*	*	*	*	*						
	1				*	*	*	*	*	*	*	*	*						*	*		*	*					*	*	*	*	*						
	2				*	*		*	*		*				*				*			*						*	*	*	*	*						
	3				*			*	*		*								*			*						*	*	*	*							
	4							*	*		*				*				*			*						*										
	5							*	*		*											*						*										
	6							*	*													*						*										
	7							*	*													*						*										
	8							*	*													*						*										
	9							*														*						*										
	10							*														*						*										
	11							*														*						*										
	12							*														*						*										
	13							*														*						*										
	14							*														*						*										
	15							*														*						*										
	16																					*						*										
	17																					*						*										
	18																					*						*										
	19																					*						*										
20																					*						*											
25																					*						*											
30																					*						*											
40																					*						*											
50																					*						*											
60																					*						*											
70																					*						*											
80																					*						*											

島根原子力発電所 格子状定線の水温水分布図 (基準水温との温度差)

平成31年2月22日 第1回
9時30分～11時03分

出力 (万kW)	1号機	—*
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	1
	2号機	25
	3号機	3
天候		晴
気温	(°C)	10.2
風向		南東
風速	(m/s)	3.0
風浪		2

※平成27年4月30日付で運転終了

[基準水温]

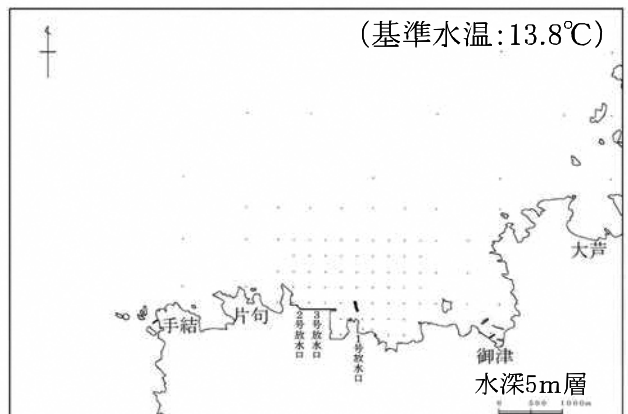
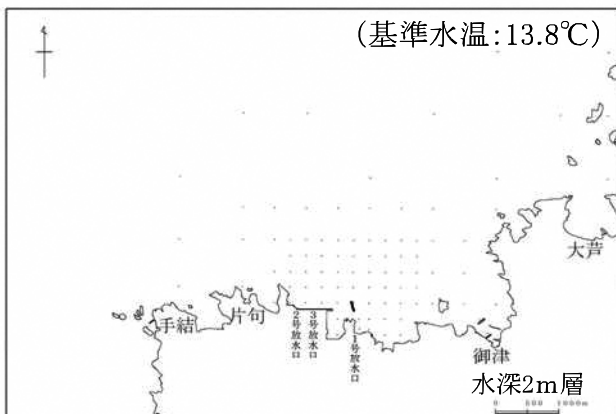
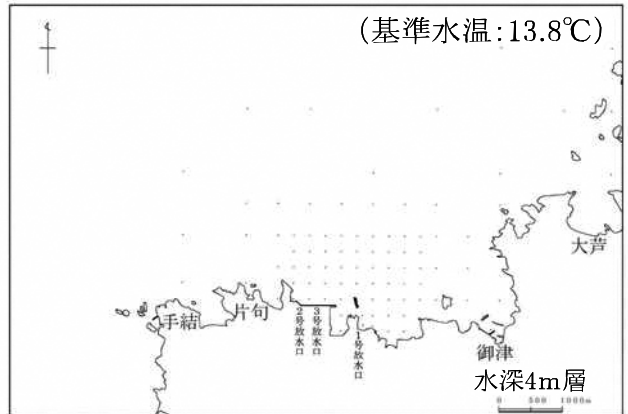
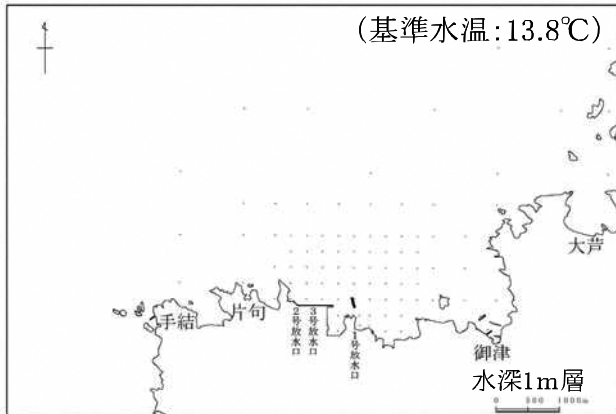
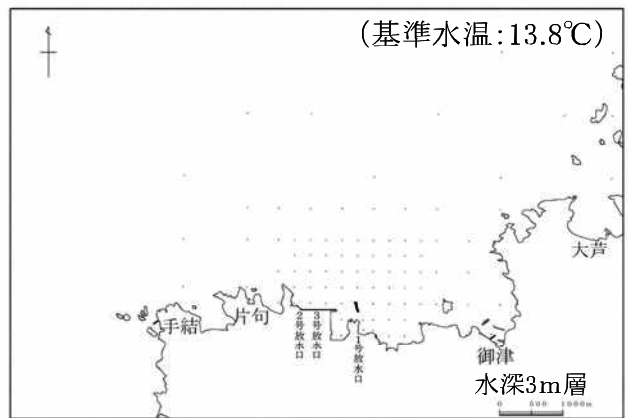
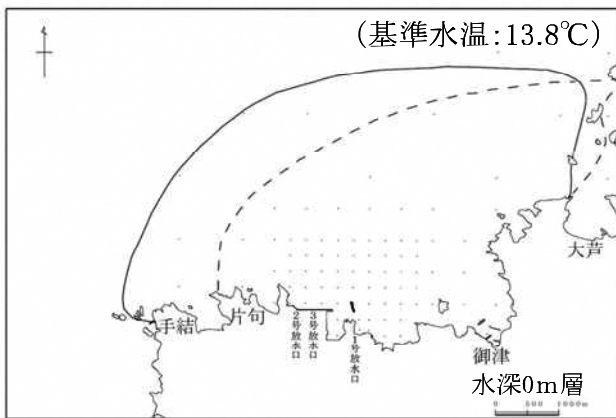
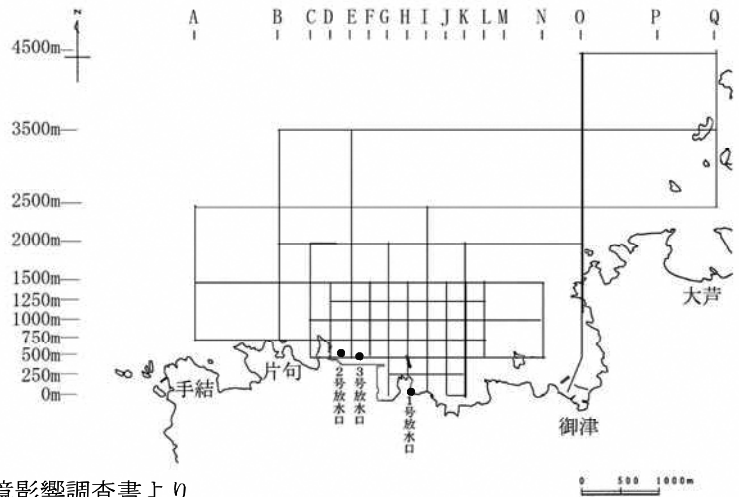
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、

P3500の6点の平均値

[1°C上昇域予測包絡範囲の凡例]

—— 島根原子力発電所2号機修正環境影響調査書より

----- 島根原子力発電所3号機環境影響評価書より



◎基準水温より1°C以上高い水温上昇域は
確認されなかった。

- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

島根原子力発電所 格子状定線の水温水平分布図 (基準水温との温度差)

平成31年2月22日 第2回
11時51分～13時33分

出力 (万kW)	1号機	—*
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	1
	2号機	25
	3号機	3
天候		晴
気温	(°C)	10.2
風向		北東
風速	(m/s)	6.3
風浪		3

※平成27年4月30日付で運転終了

[基準水温]

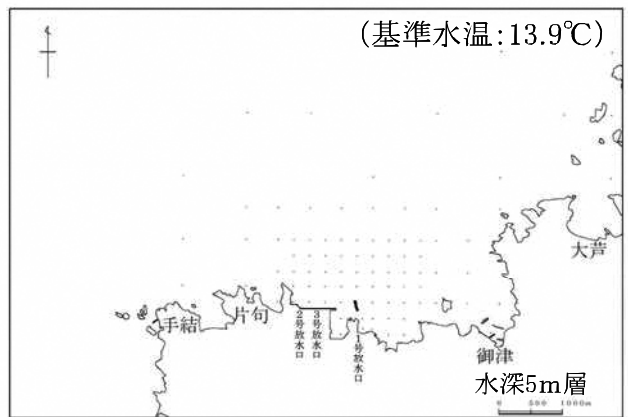
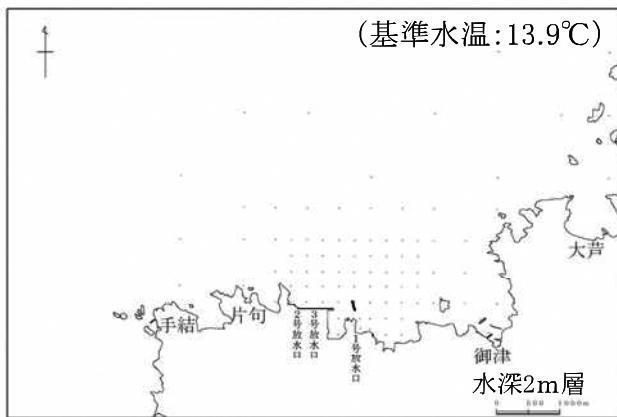
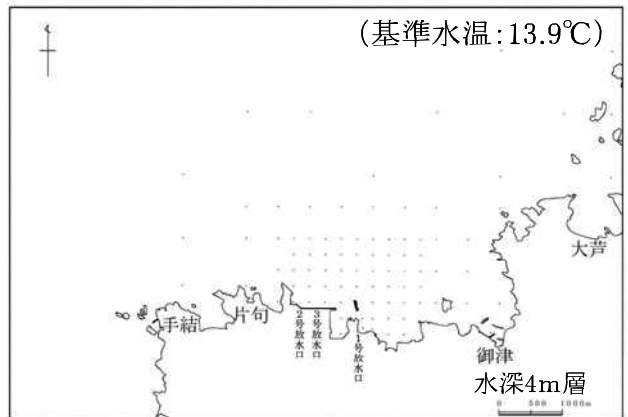
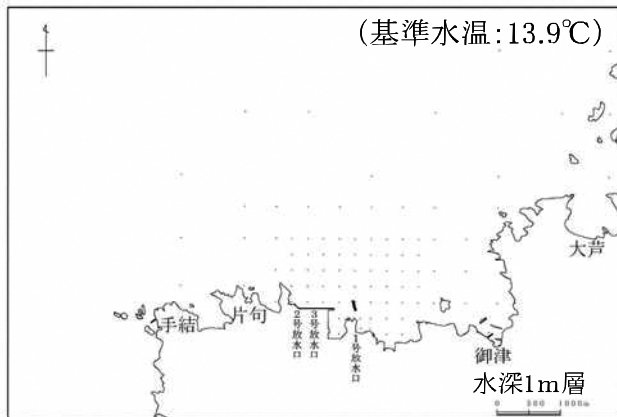
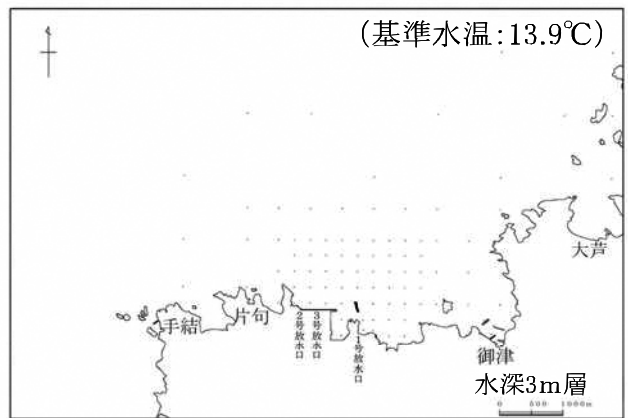
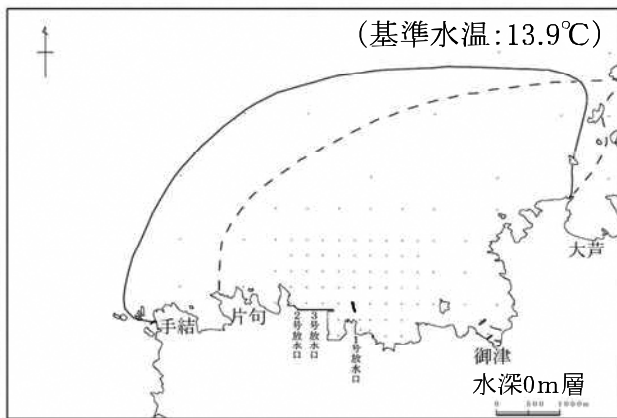
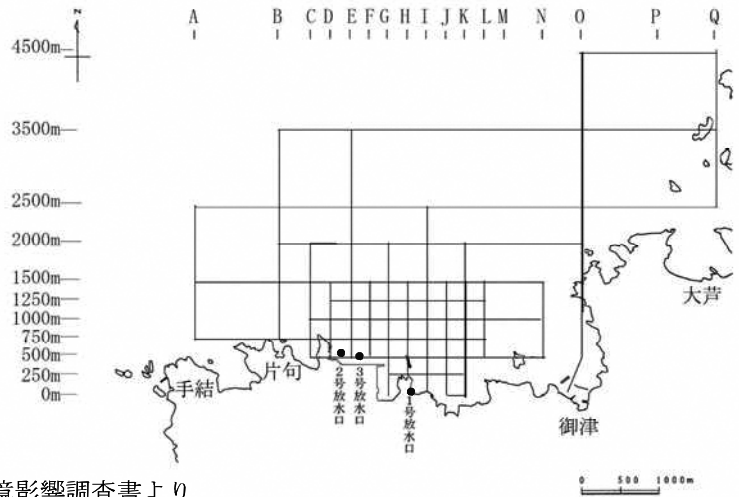
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、

P3500の6点の平均値

[1°C上昇域予測包絡範囲の凡例]

—— 島根原子力発電所2号機修正環境影響調査書より

----- 島根原子力発電所3号機環境影響評価書より



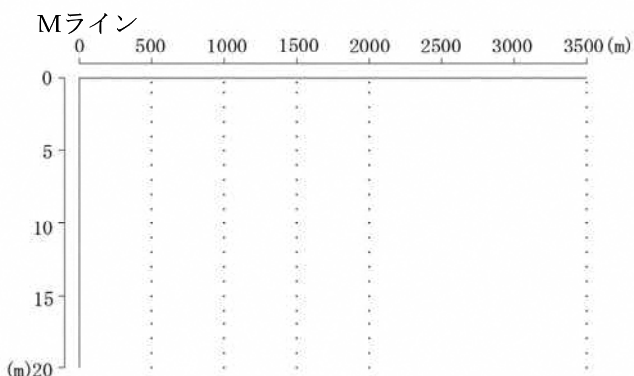
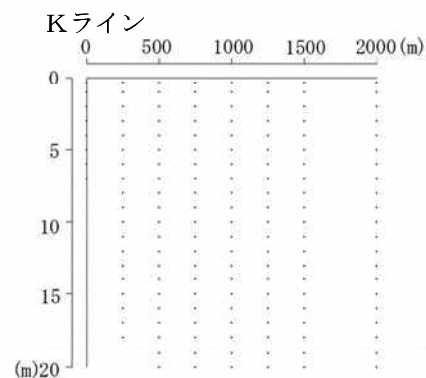
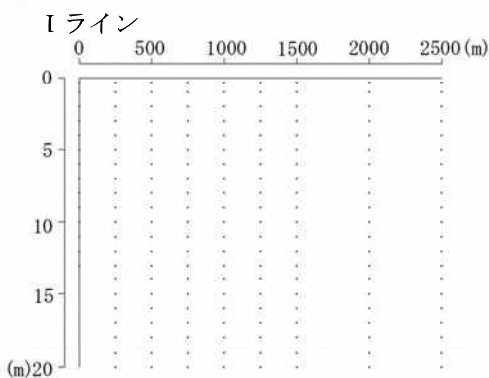
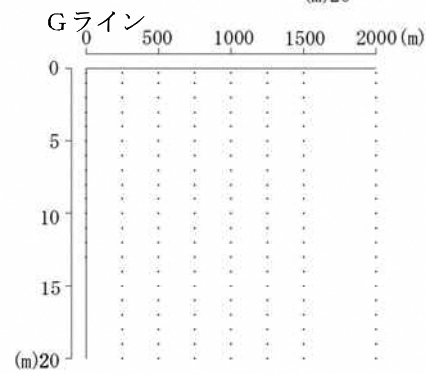
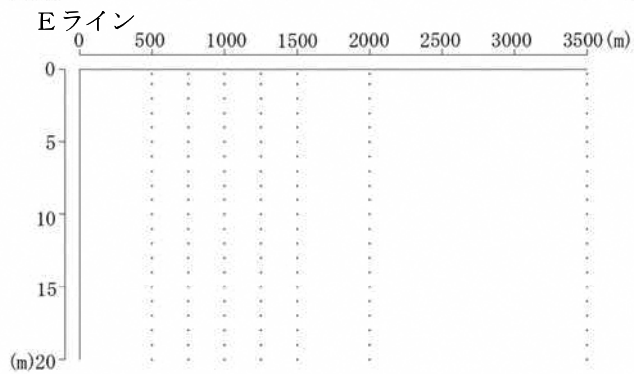
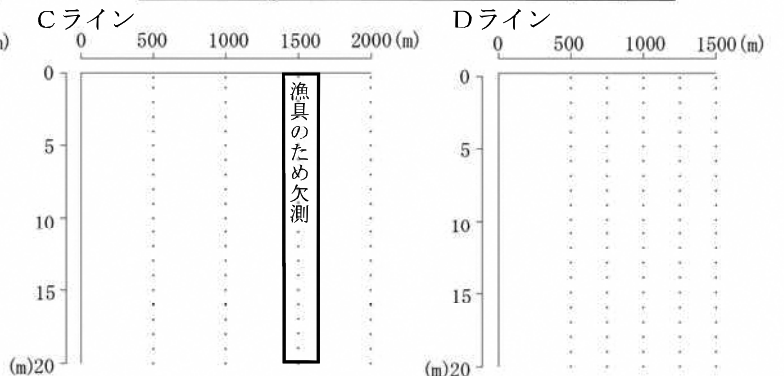
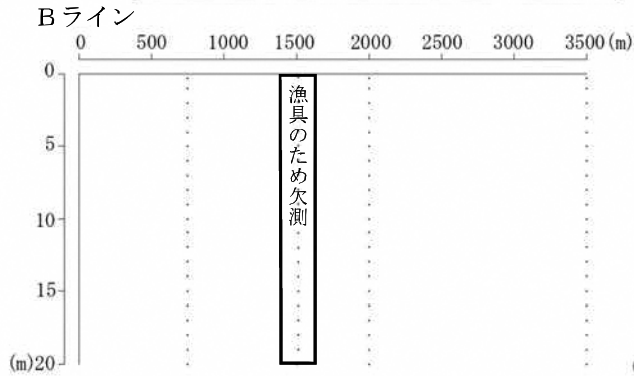
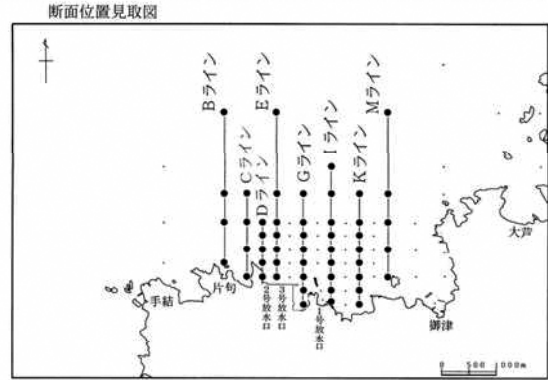
◎基準水温より1°C以上高い水温上昇域は
確認されなかった。

- 基準水温より1°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より2°C以上高い水温上昇域
- 基準水温より3°C以上高い水温上昇域

島根原子力発電所 格子状定線の水温鉛直分布図 (基準水温との温度差)

平成31年2月22日 第1回
9時30分～11時03分

出力 (万kW)	1号機	-*
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	1
	2号機	25
	3号機	3
天候		晴
気温	(℃)	10.2
風向		南東
風速	(m/s)	3.0
風浪		2



- 基準水温より1℃以上高い水温上昇域
- 基準水温より2℃以上高い水温上昇域
- 基準水温より3℃以上高い水温上昇域

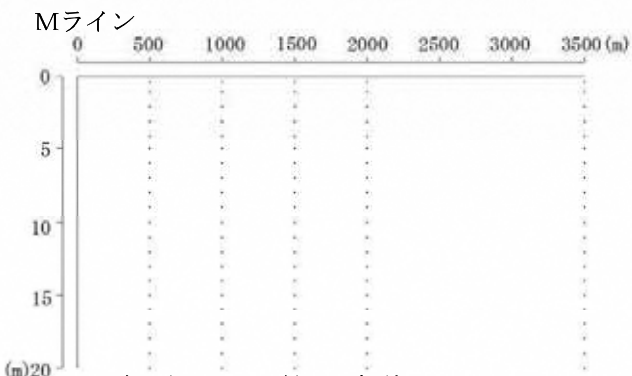
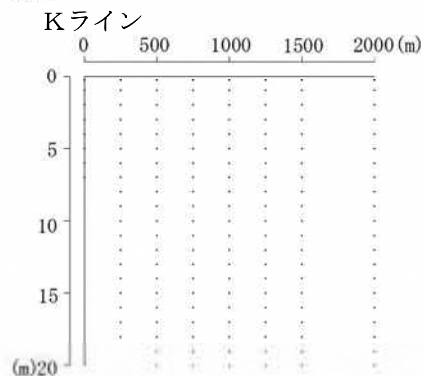
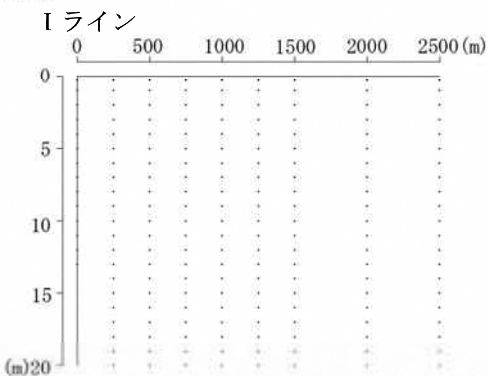
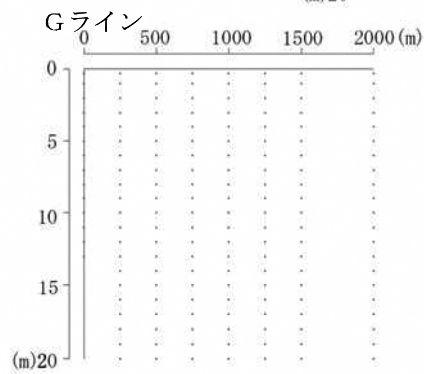
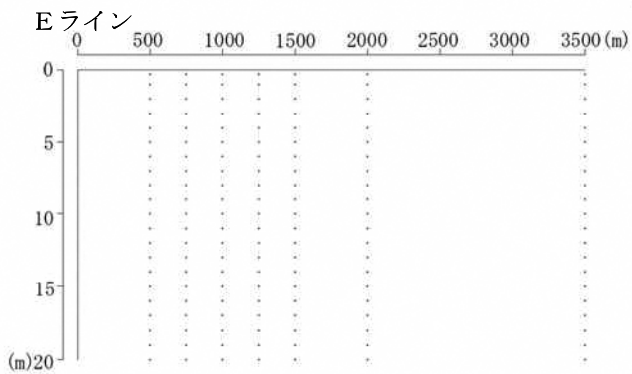
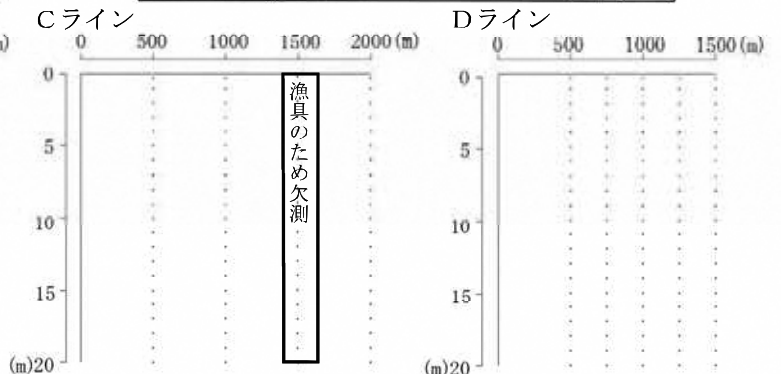
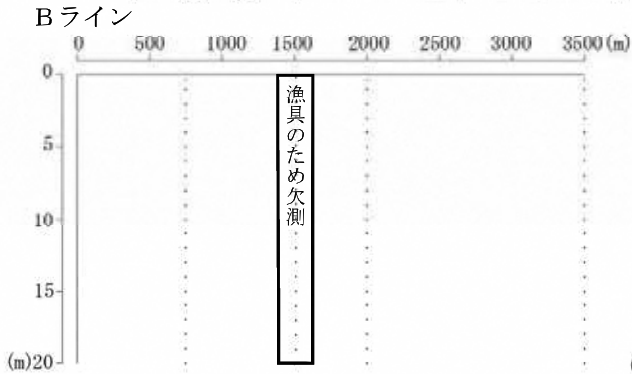
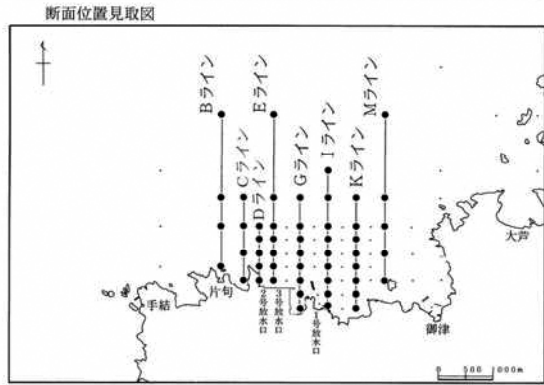
水深	基準水温(℃)
0m層	13.8
1m層	13.8
2m層	13.8
3m層	13.8
4m層	13.8
5m層	13.8

※平成27年4月30日付で運転終了
[基準水温]
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、P3500の6点の平均値

島根原子力発電所 格子状定線の水溫鉛直分布図（基準水溫との温度差）

平成31年2月22日 第2回
11時51分～13時33分

出力 (万kW)	1号機	-*
	2号機	0
	3号機	0
放水量 (m ³ /s)	1号機	1
	2号機	25
	3号機	3
天候		晴
気温	(°C)	10.2
風向		北東
風速	(m/s)	6.3
風浪		3



- 基準水溫より1°C以上高い水溫上昇域
- 基準水溫より2°C以上高い水溫上昇域
- 基準水溫より3°C以上高い水溫上昇域

水深	基準水溫(°C)
0m層	13.9
1m層	13.9
2m層	13.9
3m層	13.9
4m層	13.9
5m層	13.9

※平成27年4月30日付で運転終了
[基準水溫]
A2500、B3500、E3500、M3500、O4500、P3500の6点の平均値

島根原子力発電所 沿岸定点の水温 (平成31年2月)

観測時刻 10 時

(単位: °C)

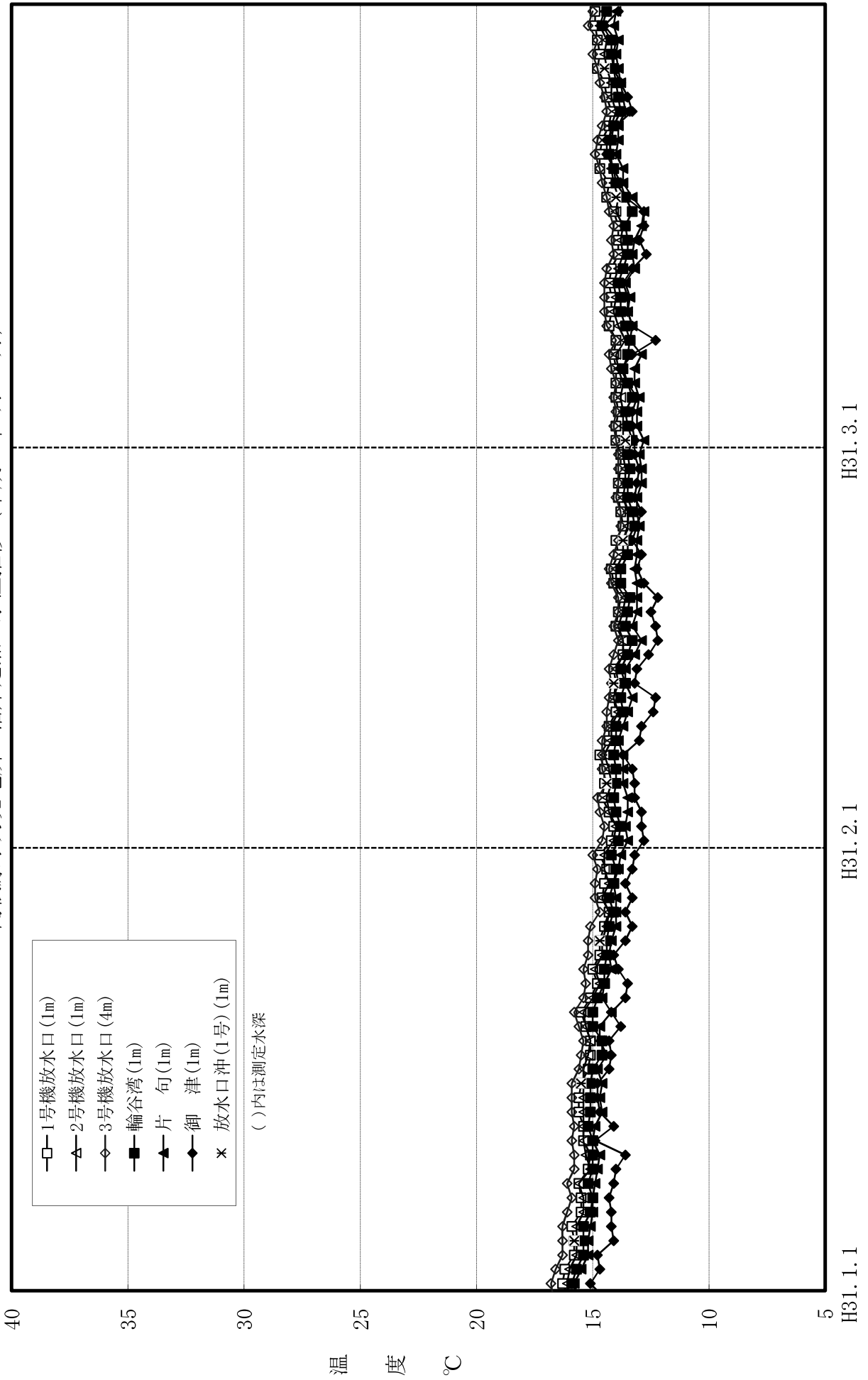
場所	日 水深	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	水深別 平均	月間 最高 最低	
		1号機放水口	1m	14.2	14.1	14.3	14.6	14.5	14.4	14.7	14.3	14.3	14.0	14.1	14.0	14.1	13.7	13.7	14.0	13.9	13.8	14.1	14.2	13.9	14.0	13.7	13.8	13.9	13.9		13.8	13.8
2号機放水口	1m	14.1	14.0	14.3	14.4	14.2	14.3	14.5	14.2	14.2	13.9	14.1	13.9	14.0	13.7	13.7	13.9	13.7	13.6	14.0	14.0	13.7	13.7	13.5	13.5	13.7	13.6	13.6	13.7	13.9	14.5	13.5
3号機放水口	4m	14.6	14.5	14.7	14.8	14.4	14.6	14.6	14.6	14.4	14.4	14.3	14.2	14.3	14.1	13.9	14.1	13.9	13.9	14.2	14.3	14.1	13.9	13.8	13.8	13.8	14.0	13.9	13.9	14.2	14.8	13.8
輪谷湾	1m	13.9	13.8	14.0	14.1	14.0	14.0	14.1	14.0	14.0	13.7	13.8	13.6	13.8	13.5	13.3	13.6	13.5	13.4	13.8	13.8	13.5	13.5	13.2	13.3	13.5	13.5	13.4	13.5	13.7	14.1	13.2
	3m	13.9	13.8	13.9	14.0	14.0	14.0	14.1	13.9	14.0	13.7	13.7	13.5	13.7	13.4	13.2	13.5	13.5	13.3	13.8	13.8	13.5	13.5	13.2	13.3	13.5	13.4	13.5	13.6	13.7	14.1	13.2
片匂	1m	13.5	13.6	13.5	13.5	13.7	13.7	13.7	13.9	13.7	13.5	13.3	13.6	13.6	13.2	12.9	13.3	13.1	13.1	13.1	13.1	13.2	13.1	13.0	13.1	13.1	12.9	12.9	13.0	13.3	13.9	12.9
	3m	13.6	13.7	13.6	13.5	13.8	13.7	13.7	14.0	13.8	13.6	13.4	13.6	13.6	13.3	13.0	13.3	13.2	13.2	13.2	13.4	13.3	13.2	13.1	13.0	13.1	12.9	13.0	13.2	13.4	14.0	12.9
御津	1m	12.8	12.9	12.9	13.2	13.2	13.3	13.7	13.0	12.9	12.4	12.3	13.2	13.1	12.6	12.2	12.3	12.5	12.2	12.8	13.1	12.9	13.3	13.1	12.9	13.2	13.1	13.0	13.2	12.9	13.7	12.2
	3m	13.2	13.2	13.2	13.5	13.5	13.6	14.0	13.3	13.2	12.8	12.6	13.1	13.2	12.9	12.5	12.6	12.8	12.5	13.1	13.6	13.5	13.6	13.3	13.1	13.3	13.3	13.3	13.5	13.2	14.0	12.5

場所	日 水深	上旬 (5日)	中旬 (12日)	下旬 (22日)	水深別 平均	月間 最高 最低	
		11m	14.4	14.1		13.7	14.1
12m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
13m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
14m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
15m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
16m	14.4	14.0	13.7	14.0	14.0	14.4	13.7
17m	14.4	14.0	13.7	14.0	14.0	14.4	13.7
18m	14.4	14.0	13.7	14.0	14.0	14.4	13.7
19m	14.4	14.0	13.7	14.0	14.0	14.4	13.7
20m	14.3	14.0	13.7	14.0	14.0	14.3	13.7

場所	日 水深	上旬 (5日)	中旬 (12日)	下旬 (22日)	水深別 平均	月間 最高 最低	
		0m	14.4	14.1		13.7	14.1
1m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
2m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
3m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
4m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
5m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
6m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
7m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
8m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
9m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7
10m	14.4	14.1	13.7	14.1	14.1	14.4	13.7

※ 放水口沖水温は、可搬式水温計による実測値。

島根原子力発電所 沿岸定点の水温推移 (平成31年1月~3月)



島根原子力発電所 沖合定線測定日の沿岸定点水温測定結果

場 所	時刻 水深	測定年月日 平成 31 年 1 月 30 日																								水深別 平均	最高	最低	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24				
1号機放水口	1m	14.4	14.4	14.4	14.3	14.4	14.3	14.3	14.3	14.3	14.4	14.5	14.5	14.4	14.4	14.4	14.5	14.5	14.6	14.6	14.7	14.7	14.7	14.7	14.7	14.7	14.5	14.7	14.3
	1m	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.2	14.2	14.2	14.3	14.3	14.4	14.4	14.4	14.5	14.6	14.7	14.7	14.7	14.7	14.7	14.6	14.6	14.6	14.6	14.4	14.7	14.2
3号機放水口	4m	14.9	14.9	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.9	14.8	14.9	14.8	
輪 谷	1m	14.1	14.1	14.1	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.1	14.1	14.2	14.2	14.3	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4	14.2	14.4	14.0	
	3m	14.1	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	13.9	13.9	14.0	14.0	14.1	14.2	14.2	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.1	14.4	13.9	
片 旬	1m	13.9	13.9	14.0	13.9	13.9	13.9	13.8	13.8	13.9	14.0	14.1	14.2	14.3	14.3	14.3	14.2	14.2	14.1	14.1	14.1	14.0	14.0	14.0	13.9	14.0	14.3	13.8	
	3m	14.0	14.0	14.1	14.0	14.0	13.9	13.9	13.9	14.0	14.0	14.1	14.2	14.3	14.3	14.3	14.2	14.2	14.2	14.2	14.1	14.1	14.1	14.0	14.0	14.1	14.3	13.9	
御 津	1m	13.7	13.6	13.5	13.5	13.4	13.4	13.3	13.3	13.2	13.3	13.4	13.6	13.7	14.0	13.9	13.9	13.8	13.7	13.8	13.8	13.6	13.6	13.6	13.6	13.6	13.6	13.2	
	3m	13.9	13.9	13.8	13.8	13.7	13.7	13.6	13.6	13.5	13.5	13.6	13.6	13.8	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9	14.0	13.9	13.9	13.9	13.9	13.8	13.8	14.0	13.5	

III 参 考 资 料

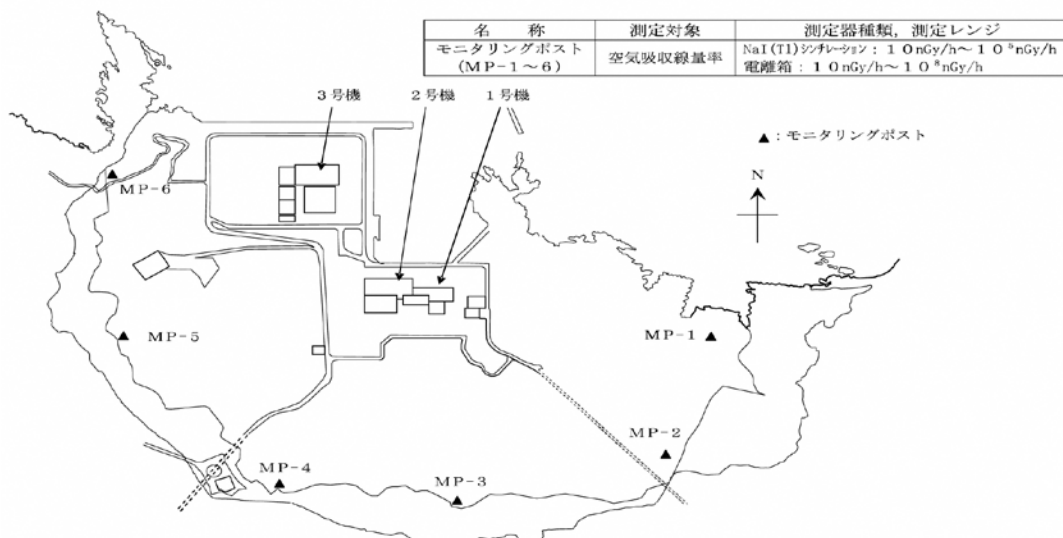
1. 島根原子力発電所敷地内におけるモニタリングポスト測定結果

単 位 : 【 nGy/h 】

	区 分	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
4月	平 均 値	24	30	35	25	33	32
	最 大 値	58	56	64	57	61	60
5月	平 均 値	24	31	36	26	33	32
	最 大 値	51	53	60	51	57	54
6月	平 均 値	24	30	36	25	33	32
	最 大 値	50	51	58	48	56	54
7月	平 均 値	24	30	35	25	33	31
	最 大 値	44	48	54	42	51	49
8月	平 均 値	24	30	35	25	33	32
	最 大 値	36	41	46	36	44	41
9月	平 均 値	24	31	35	26	34	30
	最 大 値	63	59	66	60	68	58
10月	平 均 値	23	30	34	25	33	29
	最 大 値	42	46	50	42	48	42
11月	平 均 値	24	31	34	26	33	29
	最 大 値	41	46	53	45	53	50
12月	平 均 値	24	32	35	26	34	30
	最 大 値	50	54	53	46	53	49
1月	平 均 値	24	31	35	25	33	29
	最 大 値	62	63	69	62	71	56
2月	平 均 値	24	31	35	26	33	29
	最 大 値	65	64	70	65	71	56
3月	平 均 値	23	31	34	25	33	29
	最 大 値	50	57	62	55	62	48
前年度までのデータ	月平均値の範囲	19~26	23~32	30~40	21~27	28~36	26~35
	2分値の最大値	84	86	115	105	130	100

- (注) 1. 測定者 中国電力
 2. 測定方法 3”φ球形NaI (Tl) シンチレーション検出器 (エネルギー補償型) を使用し、5.0 keV ~ 3 MeV のエネルギー範囲で測定した。
 3. 平成13年4月から2分値を測定値としている。
 このため、「前年度までのデータ」は、平成13年4月~平成30年3月の2分値について記載した。

発電所敷地周辺の放射線測定設備



2. 島根原子力発電所における放射性廃棄物管理の状況

(1) 液体廃棄物及び気体廃棄物

		液体廃棄物		気体廃棄物					
		トリチウムを除く (Bq)	トリチウム (Bq)	放射性希ガス (Bq)	放射性 よう素 [¹³¹ I] (Bq)	トリチウム (Bq)	全粒子状物質(四半期合計値)(Bq)		
							γ線 放出核種	⁸⁹ Sr, ⁹⁰ Sr	全α 放射能
原 子 力 施 設 合 計	4月	ND	2.1×10 ⁹	ND	ND	3.8×10 ⁹	ND	ND	ND
	5月	ND	4.3×10 ⁷	ND	ND	4.2×10 ⁹			
	6月	ND	1.3×10 ⁹	ND	ND	4.7×10 ⁹			
	7月	ND	2.0×10 ⁹	ND	ND	5.9×10 ⁹	ND	ND	ND
	8月	ND	1.4×10 ⁹	ND	ND	6.2×10 ⁹			
	9月	ND	1.1×10 ⁹	ND	ND	5.9×10 ⁹			
	10月	ND	1.2×10 ⁹	ND	ND	5.4×10 ⁹	ND	ND	ND
	11月	ND	6.7×10 ⁸	ND	ND	4.0×10 ⁹			
	12月	ND	2.0×10 ⁸	ND	ND	3.3×10 ⁹			
	1月	ND	3.7×10 ⁸	ND	ND	2.7×10 ⁹	ND	ND	ND
	2月	ND	1.3×10 ⁷	ND	ND	2.4×10 ⁹			
	3月	ND	7.5×10 ⁷	ND	ND	2.7×10 ⁹			
年間合計	ND	1.0×10 ¹⁰	ND	ND	5.1×10 ¹⁰				
年間放出 管理目標値	4.9×10 ¹⁰	(4.9×10 ¹²) (注2)	4.0×10 ¹⁴	2.2×10 ¹⁰					

(注) 1. NDは検出下限値未満を示す。

検出下限値は、液体廃棄物(トリチウムを除く)	約 2 × 10 ⁻² Bq/cm ³ (⁶⁰ Coで代表)
気体廃棄物(放射性希ガス)	約 2 × 10 ⁻² Bq/cm ³
気体廃棄物(放射性よう素)	約 7 × 10 ⁻⁹ Bq/cm ³
気体廃棄物(γ線放出核種)	約 4 × 10 ⁻⁹ Bq/cm ³ (⁶⁰ Coで代表)
気体廃棄物(⁸⁹ Sr, ⁹⁰ Sr)	約 4 × 10 ⁻¹⁰ Bq/cm ³ (⁹⁰ Srで代表)
気体廃棄物(全 α 放射能)	約 4 × 10 ⁻¹⁰ Bq/cm ³

2. 年間放出管理の基準値

(2) 固体廃棄物

		固 体 廃 棄 物					
		ド ラ ム 缶			そ の 他 の 種 類		
		発 生 量 (本)	焼 却 量 ・ 減 容 処 理 量 等 (本)	累 積 保 管 量 (本)	発 生 量 (本 相 当)	焼 却 量 ・ 減 容 処 理 量 等 (本 相 当)	累 積 保 管 量 (本 相 当)
原 子 炉 施 設 合 計	4月	179	88	32,638	0	0	1,747
	5月	207	22	32,823	0	0	1,747
	6月	220	122	32,921	0	0	1,747
	7月	283	137	33,067	0	0	1,747
	8月	232	133	33,166	3	0	1,750
	9月	202	257	33,111	0	11	1,739
	10月	421	235	33,297	0	22	1,717
	11月	294	267	33,324	0	0	1,717
	12月	275	211	33,388	0	39	1,678
	1月	250	151	33,487	8	31	1,655
	2月	193	131	33,549	2	0	1,657
	3月	355	459	33,445	4	0	1,661
年間合計		3,111	2,213	33,445	17	103	1,661

(注) 固体廃棄物貯蔵所の保管容量は、45,500本である。

3. 島根原子力発電所の運転状況

1 号機 (廃止措置中、定格出力：46万kW)

2 号機 (定格出力：82万kW)

	運 転 状 況	時間稼働率(%)	設備利用率(%)
4月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
5月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
6月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
7月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
8月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
9月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
10月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
11月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
12月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
1月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
2月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0
3月	第17回施設定期検査のため発電停止中	0.0	0.0

(注) 1. 時間稼働率 = $\frac{\text{稼働時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. 設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可電気出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$

4. 環境放射能の検出下限値

(1) 地表面における人工放射能

1) 人工放射能面密度の検出下限値

単 位 : 【 kBq/m² 】

測定地点	測定月日	対 象 核 種						測定者
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	
西 浜 佐 陀	5月10日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	島 根 県
御 津	11月6日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.04	0.03	〃
古 浦	5月9日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
深 田 北	11月6日	0.02	0.04	0.02	0.02	0.03	0.02	〃
片 句	5月9日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	〃
北 講 武	11月6日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	〃
佐 陀 本 郷	5月9日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.03	〃
末 次	11月6日	0.02	0.06	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
大 芦	5月9日	0.03	0.06	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
上 講 武	11月6日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
手 結	5月9日	0.03	0.07	0.03	0.04	0.04	0.03	〃
手 結 南	11月6日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	〃
池 平	5月9日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	〃
名 分	11月6日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
魚 瀬	5月9日	0.02	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
上 大 野	11月7日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
東 長 江	5月9日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
比 津	11月6日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
持 田	5月10日	0.03	0.07	0.03	0.03	0.04	0.03	〃
大 芦 別 所	11月6日	0.02	0.05	0.02	0.03	0.03	0.03	〃
加 賀	5月9日	0.03	0.05	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
出 雲	11月7日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
安 来	5月10日	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03	〃
雲 南	11月7日	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	〃

(2) 環境試料中の放射能

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

浮遊塵

単位：【 $\mu\text{Bq}/\text{m}^3$ 】

採取地点	採取期間	対 象 核 種					測定者
		^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{137}Cs	
御津	3月30日～5月1日	3.0	9.3	3.2	3.3	2.7	島根県
	5月1日～6月1日	3.9	11	3.7	2.7	2.4	〃
	6月1日～7月2日	2.2	7.1	2.6	3.6	2.2	〃
	7月2日～7月31日	3.2	6.7	2.6	3.1	2.1	〃
	7月31日～9月3日	1.9	6.2	2.3	2.3	2.0	〃
	9月3日～10月1日	4.2	7.3	3.1	2.8	2.3	〃
	10月1日～11月1日	2.0	7.0	2.6	2.8	2.2	〃
	11月1日～12月3日	2.0	7.0	2.5	2.5	2.2	〃
	12月3日～12月27日	2.6	8.4	3.0	3.3	2.8	〃
	12月27日～1月30日	1.5	5.2	1.7	2.0	1.6	〃
	1月30日～3月1日	3.2	6.2	2.0	2.0	1.9	〃
	3月1日～4月1日	1.5	4.7	1.8	1.8	1.6	〃
古浦	3月30日～5月1日	2.9	10	3.3	3.4	4.2	〃
	5月1日～6月1日	2.8	13	3.5	3.0	2.5	〃
	6月1日～7月2日	2.3	7.2	3.3	3.6	2.3	〃
	7月2日～7月31日	2.3	8.0	3.0	2.9	2.4	〃
	7月31日～9月3日	3.0	6.4	2.2	2.3	2.1	〃
	9月3日～10月1日	2.3	7.3	2.5	2.8	3.2	〃
	10月1日～11月1日	2.1	6.8	2.4	3.0	2.0	〃
	11月1日～12月3日	2.0	7.2	2.4	2.7	2.1	〃
	12月3日～12月27日	2.6	7.8	2.9	3.4	2.7	〃
	12月27日～1月30日	1.9	6.8	2.4	2.6	2.3	〃
	1月30日～3月1日	1.2	3.8	1.5	1.5	1.3	〃
	3月1日～4月1日	1.1	3.7	1.2	1.4	1.1	〃
西浜佐陀	3月30日～5月1日	2.5	11	3.5	3.0	2.5	〃
	5月1日～6月1日	2.5	9.5	3.2	3.2	2.7	〃
	6月1日～7月2日	2.3	7.5	2.8	2.7	2.3	〃
	7月2日～7月31日	2.3	6.8	2.7	2.9	2.4	〃
	7月31日～9月3日	2.0	7.1	2.6	2.4	2.0	〃
	9月3日～10月1日	2.3	7.8	2.6	2.7	2.4	〃
	10月1日～11月1日	2.1	8.4	2.9	2.9	3.3	〃
	11月1日～12月3日	2.1	7.2	2.7	2.6	2.1	〃
	12月3日～12月27日	2.7	8.2	2.9	3.4	2.9	〃
	12月27日～1月30日	2.1	6.6	2.3	2.6	2.2	〃
	1月31日～2月27日	1.6	5.6	1.9	2.2	1.9	〃
	2月27日～4月1日	1.0	3.4	1.3	1.3	1.1	〃

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

陸 水 単 位 : 【 mBq/l 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対 象 核 種					測 定 者
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
池 水	表 層 水	一 矢	5月29日	0.57	1.3	0.40	0.42	0.33	島 根 県
				0.61	1.2	0.69	0.61	0.51	中 国 電 力
		上 講 武	5月23日	0.50	1.2	0.52	0.51	0.45	〃
		西 谷	5月29日	0.52	1.0	0.48	0.41	0.34	島 根 県
				0.64	2.1	0.81	0.59	0.60	中 国 電 力
			11月20日	0.34	1.2	0.44	0.44	0.36	島 根 県
0.48	1.4			0.67	0.53	0.45	中 国 電 力		
水 道 原 水	着 水 井	忌 浄 水 場	5月29日	0.62	1.4	0.44	0.43	0.32	島 根 県
				0.56	1.7	0.62	0.54	0.45	中 国 電 力
			11月20日	0.59	1.2	0.40	0.44	0.35	島 根 県
				0.51	1.2	0.50	0.49	0.39	中 国 電 力

植 物 単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対 象 核 種						測 定 者
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	
松 葉	2 年 葉	御 津	4月27日	0.07	0.36	0.08	0.06	0.17	0.05	島 根 県
		西 浜 佐 陀	7月31日	0.05	0.16	0.04	0.04	0.17	0.03	〃
		深 田 北	10月17日	0.05	0.16	0.04	0.04	0.15	0.03	〃
				0.06	0.41	0.10	0.05	/	0.05	中 国 電 力

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

農 産 物

単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対 象 核 種						測 定 者
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	
大根	根	御 津	12月10日	0.01	0.08	0.02	0.02		0.01	島 根 県
		根 連 木	4月16日	0.02	0.04	0.02	0.02		0.01	中 国 電 力
			12月3日	0.02	0.13	0.03	0.03		0.02	島 根 県
ほうれん草	葉	御 津	12月10日	0.03	0.19	0.04	0.05	0.06	0.02	〃
		根 連 木	12月2日	0.04	0.25	0.05	0.07	0.08	0.03	〃
				0.04	0.27	0.06	0.06		0.04	中 国 電 力
キャベツ	葉	御 津	5月9日	0.01	0.07	0.02	0.02		0.02	島 根 県
		根 連 木	5月1日	0.02	0.10	0.02	0.03		0.01	〃
精米		尾 坂	10月17日	0.02	0.06	0.02	0.02	0.04	0.01	〃
				0.01	0.04	0.01	0.01		0.01	中 国 電 力
茶葉		北 講 武	5月8日	0.04	0.16	0.03	0.04	0.09	0.03	島 根 県
				0.05	0.13	0.05	0.06	0.14	0.04	中 国 電 力

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

牛 乳

単 位：【 mBq/ℓ 】

試 料 名	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種		測 定 者
			¹³¹ I		
原 乳	南 講 武	4月12日	43		島 根 県
			46		中 国 電 力
		7月27日	42		島 根 県
			46		〃
		10月18日	46		中 国 電 力
1月23日	41		島 根 県		

陸 土（濃 度）

単 位：【 Bq/kg(乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
表 層 土 (0~5cm)	南 講 武	5月24日	0.93	2.2	0.62	0.67	0.47	島 根 県
	片 句	5月24日	0.99	2.8	0.85	0.79	0.87	〃
	佐 陀 宮 内	5月23日	1.1	2.6	0.70	0.74	0.62	〃
			0.84	1.7	0.83	0.94	0.79	中 国 電 力
	西 浜 佐 陀	5月23日	1.1	3.2	0.85	0.85	0.63	島 根 県

陸 土（面 密 度）

単 位：【 kBq/m² 】

部 位	採 取 地 点	採 取 月 日	対 象 核 種					測 定 者
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
表 層 土 (0~5cm)	南 講 武	5月24日	0.05	0.12	0.03	0.04	0.03	島 根 県
	片 句	5月24日	0.09	0.24	0.07	0.07	0.08	〃
	佐 陀 宮 内	5月23日	0.08	0.18	0.05	0.05	0.04	〃
			0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	中 国 電 力
	西 浜 佐 陀	5月23日	0.05	0.13	0.04	0.04	0.03	島 根 県

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

海 水 単 位 : 【 mBq/ℓ 】

部 位	採 取 地 点	採取月日	対 象 核 種					測 定 者
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
表 層 水	1 号機放水口	4月24日	0.89	4.2	1.3	1.1	0.73	島根県
			1.4	3.0	1.5	1.4	0.84	中国電力
		10月16日	1.6	4.9	1.6	1.0	0.78	島根県
			1.3	2.2	1.1	1.2	0.83	中国電力
	2号機放水口付近	4月17日	0.96	5.9	1.5	1.1	0.73	島根県
		10月9日	1.5	2.7	1.5	1.3	0.88	中国電力
	3号機放水口付近	4月17日	0.86	5.8	1.5	1.2	0.68	島根県
		10月9日	1.2	2.4	1.2	1.3	0.76	中国電力
	取 水 口	4月24日	1.3	2.7	1.2	1.3	0.94	〃
		10月16日	1.4	2.8	1.4	1.4	0.87	〃
	1号機放水口沖	4月17日	0.93	4.5	1.4	0.97	0.80	島根県
		10月10日	1.8	4.7	1.4	1.1	0.84	〃
	2・3号機放水口沖	4月17日	0.96	5.6	1.4	1.0	0.68	〃
		10月10日	0.91	5.8	1.7	1.1	0.79	〃
	手 結 沖	4月17日	0.89	6.0	2.0	1.3	1.1	〃
		10月11日	1.5	2.7	1.5	1.3	0.95	中国電力

海 底 土 単 位 : 【 Bq/kg(乾物) 】

部 位	採 取 地 点	採取月日	対 象 核 種					測 定 者
			⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
表層底質	1号機放水口沖	4月19日	0.80	2.0	0.60	0.55	0.46	島根県
	2・3号機放水口沖	4月19日	0.51	2.8	0.51	0.60	0.50	〃
	手 結 沖	4月19日	0.85	2.3	0.58	0.62	0.44	〃

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

海産生物 (1)

単 位 : 【 Bq/kg(生) 】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対 象 核 種					測 定 者
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
かさこ	肉	発電所付近 沿 岸	4月27日 6月5日	0.07	0.34	0.05	0.06	0.04	島 根 県
なまこ	肉	1号機放水口湾付近	1月21日	0.02	0.09	0.02	0.03	0.02	〃
		宮崎鼻付近	2月18日	0.03	0.07	0.02	0.03	0.02	〃
ややえ	肉	1号機放水口湾 付 近	4月10日	0.03	0.14	0.04	0.06	0.05	〃
			7月12日	0.06	0.20	0.05	0.06	0.05	〃
			10月15日	0.07	0.22	0.05	0.07	0.06	〃
			1月15日	0.07	0.20	0.05	0.07	0.04	〃
		宮 崎 鼻 付 近	4月13日	0.04	0.27	0.06	0.07	0.04	〃
			8月6日	0.04	0.18	0.05	0.06	0.04	〃
			11月7日	0.04	0.23	0.06	0.07	0.05	〃
			2月12日	0.04	0.16	0.04	0.07	0.03	〃
	内臓	1号機放水口湾 付 近	4月10日	0.06	0.14	0.04	0.06	0.05	〃
			7月12日	0.06	0.18	0.04	0.05	0.05	〃
			10月15日	0.06	0.16	0.04	0.05	0.05	〃
			1月15日	0.06	0.15	0.07	0.05	0.05	〃
		宮 崎 鼻 付 近	4月13日	0.06	0.20	0.05	0.05	0.03	〃
			8月6日	0.03	0.12	0.03	0.04	0.03	〃
			11月7日	0.05	0.17	0.04	0.04	0.03	〃
			2月12日	0.05	0.12	0.03	0.05	0.03	〃
むらさきいがい	むき身	1号機放水口湾 付 近	7月19日	0.03	0.43	0.08	0.05	0.04	〃
				0.05	0.16	0.05	0.05	0.03	中国電力
	むき身	宮 崎 鼻 付 近							島 根 県
									中国電力
		浜 田 市	7月15日	0.02	0.09	0.02	0.03	0.02	島 根 県
			松 江 市 美 保 関 町	7月11日	0.02	0.08	0.02	0.03	0.02
	0.03	0.11		0.04	0.03	0.02	中国電力		

1) ガンマ線スペクトロメトリー対象核種の検出下限値

海産生物 (2)

単位:【Bq/kg(生)】

試料名	部位	採取地点	採取月日	対 象 核 種						測定者
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	
あらめ	仮根を除く	1号機放水口湾近付	6月26日	0.10	0.33	0.08	0.11	/	0.08	島根県
			10月15日	0.07	0.40	0.09	0.12	0.07	0.06	〃
		宮付 崎 鼻近	7月27日	0.09	0.33	0.08	0.10	/	0.08	〃
			3月30日	0.09	0.28	0.10	0.10	0.17	0.11	中国電力
		宮付 崎 鼻近 海 底 部	6月26日	0.11	0.35	0.08	0.12	/	0.09	島根県
				0.07	0.20	0.07	0.08	/	0.05	中国電力
わかめ	仮根を除く	1号機放水口湾近付	4月10日	0.05	0.17	0.05	0.08	0.05	0.07	島根県
				0.08	0.26	0.08	0.09	0.12	0.06	中国電力
岩のり	全体	1号機放水口湾近付	1月15日	0.11	0.32	0.08	0.11	/	0.06	島根県
ほんだわら類	仮根を除く	1号機放水口湾近付	6月26日	0.14	0.59	0.11	0.15	0.08	0.11	〃
				0.10	0.31	0.10	0.10	0.11	0.07	中国電力
		宮付 崎 鼻近	3月19日	0.09	0.26	0.06	0.09	0.26	0.05	島根県
				0.09	0.30	0.10	0.10	0.31	0.07	中国電力
		輪 谷 湾								島根県
										中国電力
		浜 田 市	7月16日	0.15	0.48	0.11	0.14	0.04	0.10	島根県
		松 江 市 美 保 関 町	7月11日	0.14	1.5	0.22	0.10	0.03	0.10	〃
0.11	0.32			0.12	0.13	/	0.09	中国電力		

2) トリチウムの検出下限値

試料名	採取地点	採取期間	大気中濃度(mBq/m ³)	捕集水濃度(Bq/l)	測定者
大気水	深田北	3月30日～5月1日	1.8	0.22	島根県
		5月1日～6月1日	2.1	0.20	〃
		6月1日～7月2日	3.0	0.20	〃
		7月2日～7月31日	4.8	0.23	〃
		7月31日～9月3日	4.4	0.22	〃
		9月3日～10月1日	3.7	0.23	〃
		10月1日～11月1日	2.2	0.21	〃
		11月1日～12月3日	1.7	0.22	〃
		12月3日～12月27日	1.6	0.24	〃
		12月27日～1月30日	2.0	0.24	〃
		1月30日～3月1日	1.4	0.24	〃
		3月1日～4月1日	1.5	0.25	〃
	北講武	3月30日～5月1日	1.9	0.22	〃
		5月1日～6月1日	2.3	0.20	〃
		6月1日～7月2日	3.1	0.20	〃
		7月2日～7月31日	4.8	0.23	〃
		7月31日～9月3日	4.6	0.22	〃
		9月3日～10月1日	3.8	0.23	〃
		10月1日～11月1日	2.2	0.21	〃
		11月1日～12月3日	1.9	0.23	〃
		12月3日～12月27日	1.4	0.21	〃
		12月27日～1月30日	2.3	0.24	〃
		1月30日～3月1日	1.5	0.24	〃
		3月1日～4月1日	1.5	0.24	〃

2) トリチウムの検出下限値

単 位 : 【 Bq/ℓ 】

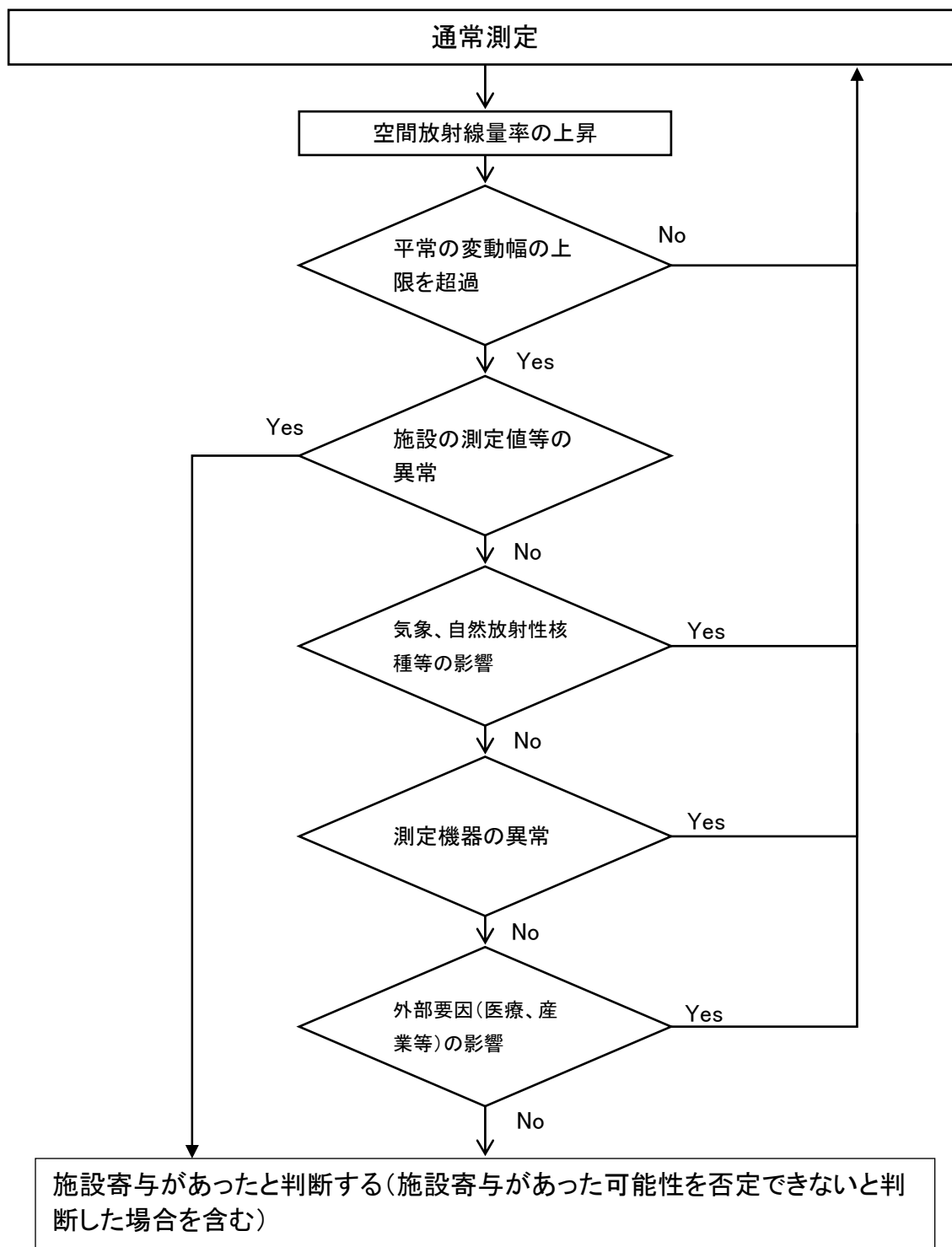
試料名	部位	採取地点	採取月日	検出下限値	測定者
海水	表層水	1号機放水口沖	4月17日	0.22	島根県
				0.30	中国電力
			7月26日	0.23	島根県
				10月10日	0.23
			0.36		中国電力
			1月30日	0.24	島根県
		2・3号機放水口沖	4月17日	0.23	〃
				0.29	中国電力
			7月26日	0.23	島根県
				10月10日	0.22
			0.32		中国電力
			1月30日	0.24	島根県
		手結沖	4月17日	0.23	〃
			10月11日	0.31	中国電力
陸水	池水	一矢	5月29日	0.20	島根県
				0.29	中国電力
		西谷	5月29日	0.21	島根県
				0.30	中国電力
		11月20日	0.21	島根県	
			0.38	中国電力	

3) ストロンチウム 90 の検出下限値

試料名		部位	採取地点	採取月日	検出下限値	単位	測定者
農産物	松葉	2年葉	御津	4月27日	0.28	Bq/kg (生)	島根県
	ほうれん草	葉	御津	12月10日	0.04		〃
	茶	葉	北講武	5月8日	0.04		〃
陸土		表層土 (0~5cm)	佐陀宮内	5月23日	0.26	Bq/kg(乾物)	〃
					0.01	kBq/m ²	〃
海水		表層水	1号機放水口沖	4月17日	0.89	mBq/l	〃
海産生物	さざえ	肉	1号機放水口湾 付 近	4月10日	0.05	Bq/kg (生)	〃
			宮崎鼻付 近	4月13日	0.06		〃
	あらめ	仮根を 除く	宮崎鼻付 近	7月27日	0.11		〃
	わかめ	〃	1号機放水口湾 付 近	4月10日	0.10		〃

5. 空間放射線量率が平常の変動幅を超過した場合の原因究明フローチャート

空間放射線量率2分間値が平常の変動幅を超過した場合、気象の状況や入射γ線エネルギーの解析結果、線量率の変動パターン、局舎設置のカメラ映像、発電所情報などを調査し、以下のフローチャート（「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」平成30年4月4日 原子力規制庁）を参考に原因究明を行う。



用語の解説

(1) 「平常の変動幅」について

「平常の変動幅」については、「環境放射線モニタリングに関する指針」（原子力安全委員会）において「測定条件等が良く管理されており、かつ原子力施設が平常運転を続けている限り、測定値の変動はある幅の中に納まるはずであり、これを「平常の変動幅」と呼ぶことにする。」と規定されている。

本技術会は測定項目別の「平常の変動幅」を指針に準拠し下表のとおり定めた。

なお、測定値が「平常の変動幅」を外れた場合はその原因を調査している。

測定項目別「平常の変動幅」

調査項目	平常の変動幅	更新等
空間放射線の積算線量	前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲とする。	年度毎に更新
モニタリングポストによる空間放射線量率	前年度までの2年間以上(5年間を上限とする)の全データから求めた累積相対度数分布の(平均値 \pm 3 \times 標準偏差)相当の範囲とする。	年度毎に更新
地表面における人工放射能面密度	前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲とする。	年度毎に更新
環境試料中の放射能	前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とする。 ただし、ガンマ線スペクトロメトリー対象核種については福島第1原子力発電所事故の影響があったと思われる平成23, 24年度の値を除く前年度までの10年間の対象としている。	年度毎に更新

(2) 「検出下限値」について

環境試料中の放射能の検出下限値は標準偏差の3倍とする。

本報告書では「検出下限値未満」を「ND」と表記する。

(3) 環境放射線調査関係

【あ】

R P L D (RadioPhotoLuminescence glass Dosimeter の略、蛍光ガラス線量計)

銀活性化リン酸塩ガラスなどの物質は、放射線を照射した後に紫外線レーザを照射すると、放射線量に比例して発光する性質を有する。このような性質を利用した線量計を R P L D という。

α線、β線、γ線

α線は、原子核から飛び出した陽子2個と中性子2個が組み合わさった粒子 (He (ヘリウム) の原子核) である。α線は物質を透過する力が弱く、皮膚の表面や薄い紙1枚程度で止める (遮蔽する) ことができるが、強い電離作用がある。

β線は、原子核から飛び出した高速の電子である。β線の物質を透過する力はα線の約100倍であり、皮膚の表面から数mmの深さまで到達する。薄いアルミニウム板などで止める (遮蔽する) ことができる。

γ線は電磁波であり、励起状態にある原子核が安定状態になる際に放出される。γ線の物質を透過する力はβ線より強く、身体の深部にまで到達する。鉛やコンクリートなどで止める (遮蔽する) ことができる。

in-situ 測定

「現場での測定」を意味する。本報告書においては、可搬型ゲルマニウム半導体検出器を環境中に運搬し、現場においてγ線スペクトロメトリーを行うことを指す。

液体シンチレーション測定

環境試料中の放射性核種を測定するために、測定試料を液体発光物質 (液体シンチレータ) に溶かし、試料が出す放射線が発光物質に衝突して発する光を測定して、放射性核種の分析を行うことがある。これを液体シンチレーション測定という。

³H (トリチウム) は液体シンチレーション測定を用いて放射能を測定している。

【か】

核種分析

ほとんどの放射性核種は固有のエネルギーを有するγ線等の放射線を放出しているため、物質から放出される放射線のエネルギーとその放出量を測定することによって、放射性核種がどれだけ含まれているかを知ることができる。このようにして、物質に含まれる放射性核種の種類及び放射能を分析することを核種分析という。

環境試料中の放射能

放射性核種の分布や変動の程度を把握するために、一般環境に存在するものを採取し、その放射能分析を行っている。現在のところ、このような環境試料としては、浮遊塵、植物 (松葉)、農畜産物、海産生物、陸水、海水、陸土、海底土等がある。

測定結果は試料によって、試料の単位体積あたりの放射能 (μ B q / m³、m B q / l)、単位面積あたりの放射能 (k B q / m²) 又は単位質量あたりの放射能 (B q / k g) で表している (μ (マイクロ) は100万分の1、m (ミリ) は千分の1、k (キロ) は千倍)。

γ線スペクトロメトリー (γ線分光分析)

γ線スペクトロメータを用いてγ線のエネルギースペクトルの測定を行い、得られたスペクトルを解析することによって、試料に含まれる放射性核種の種類及び放射能の分析を行うことをγ線スペクトロメトリー (γ線分光分析) という。

国際放射線防護委員会（ICRP）

1928年に設立された国際X線・ラジウム防護委員会を継承して設立された国際的な専門家の委員会であり、1950年から放射線防護に関する国際的な基準を勧告してきた。最初の勧告（Publication 1）は1958年に出されている。

この勧告は拘束力を持つものではないが、国際機関および各国の法律制定に大きな影響を与えている。世界の放射線防護はICRPの勧告に基づいて実施されており、日本の放射線防護に関係する法令もICRPの勧告を国内で審議のうえ採用している。

【さ】

積算線量（空間放射線積算線量）

ある地点で一定期間にわたって測定された空間放射線量の積算量をいう。放射線量は物質に吸収されたエネルギーで表す。物質1kgあたり1J（ジュール）のエネルギー吸収をもたらす放射線量を1Gy（グレイ）とする。RPD（蛍光ガラス線量計）による測定の場合、同一地点で約3ヶ月間測定した値を90日間の値に換算して、mGy（ミリグレイ）／90日で表している（ミリは千分の1）。

線量限度

放射線防護の目的のために設定された放射線被ばくの限度のことを指す。放射線が人体に及ぼす確定的影響を防止し、確率的影響を容認できるレベルに制限するために設定されている。

日本では、法令によって自然放射線と医療放射線を除いて、職業人に対して100mSv／5年かつ50mSv／年、一般公衆に対して1mSv／年と定めている。

線量率（空間放射線量率）

単位時間あたりの空間放射線量をいう。本報告書では、これを1時間あたりの空間放射線量であるnGy（ナノグレイ）／hで表している（ナノは10億分の1）。

【た】

TLD（Thermo Luminescence Dosimeterの略、熱ルミネセンス線量計）

CaSO₄（硫酸カルシウム）やLiF（フッ化リチウム）などの物質は、放射線を照射した後加熱すると発光する性質を有する。この性質を利用した線量計をTLDという。

島根県では、硫酸カルシウムにトリウムを添加したもの（CaSO₄:Tm）をTLD素子として使用している。

【は】

平常の変動幅

測定条件、気象状態や自然環境などによって変動する測定値について、その変動する原因を調査した方がよいかどうかのふり分けをする大まかなレベルのことをいう。

この範囲は、過去のデータを統計処理して求めたものであり、範囲をはずれた測定値については原因調査を行い、原子力発電所の影響の有無を確認する。

なお、この範囲は、人体に影響を生じるレベルよりはるかに低い値であり、人体への影響を評価するためのものではない。

放射化学分析

環境試料中の放射性核種を測定するために、適当な化学的方法により元素の分離・精製を行い、その中に含まれる放射性核種の種類あるいは放射エネルギーを求めることを放射化学分析という。

⁹⁰Sr（ストロンチウム90）は放射化学分析により定量を行っている。

放射性核種

放射能をもつ同位元素を放射性核種といい、放射性同位元素といってもよい。例えば天然に存在する原子番号19のカリウムは質量数39のK-39、質量数40のK-40、質量数41のK-41の3種類がある。このうちK-39とK-41は放射能をもたないので安定核種とよぶが、K-40は放射能をもつので放射性核種という。

放射線

空間を伝播、移動するエネルギーの流れで、このうち電離作用をもったものをいう。代表的なものに、 α （アルファ）線、 β （ベータ）線、 γ （ガンマ）線、X（エックス）線などがある。

放射能と混同して使われることがあるが、異なるものである。

放射能

原子核が不安定であるために壊変し、 α 線や β 線、または γ 線やX線等の放射線を放出する性質またはその壊変の起きやすさをいう。

放射能（の強さ）は単位時間における壊変数で表し、Bq（ベクレル）を単位とする。1秒間に1個の原子核が壊変する物質の放射能（の強さ）は1Bqであるという。

【ま】

面密度

陸土試料などについて、単位質量あたりの放射能を単位面積あたりの放射能に換算した値。単位はkBq/m²など。

モニタリングカー

空間放射線量率計などの測定装置を備えていて、空間放射線などを移動測定することのできる車をいう。

モニタリングポスト

空間放射線量率を自動連続測定する装置を備えた野外測定設備をいう。なお、空間放射線量率計に加えて気象観測装置なども備えている設備のことをモニタリングステーションと呼んでいる。

【や】

預託実効線量

人体組織に対する放射線の影響は、放射線の種類やエネルギーにより異なるため、これを共通の尺度で評価するために使う量を等価線量という。これは物質が単位質量あたりに吸収する放射線のエネルギー（単位：Gy）に換算係数（放射線の種類やエネルギーにより異なる）を乗じたものであり、単位はSv（シーベルト）である。

体内に取り込まれた放射性核種からの被ばく（内部被ばく）の場合、体外に排泄されるまで、または崩壊によって減衰するまで被ばくが続く。このことを考慮して求めた50年間（成人の場合）にわたる等価線量の積分値を預託等価線量という。

人体に対する放射線の影響は被ばくする組織によって異なっているため、組織ごとの影響を共通の尺度で評価する必要がある。この目的に使うため、各組織ごとの預託等価線量に荷重係数（ W_T ）を乗じて合計した量を預託実効線量としている。

(参考)

確率的影響、確定的影響

放射線の被ばくにより生じる影響で、影響の程度は線量に依存しないが、影響が発生する確率と線量との間にはしきい値（それ以下の線量では影響が現れないとされる値）のない比例関係が存在することを確率的影響という。例えば、被ばくした人の子孫に現れる遺伝的影響ならびに被ばくした人に現れる身体的影響のうちの発ガンがこれに当たる。

これに対して、その発生にしきい値線量があり、しきい値以下の線量では影響が現れず、影響の程度が線量に比例すると考えられるものを確定的影響という。例えば、放射線被ばくに起因する皮膚の障害、白内障、不妊などがこれに当たる。

本書は放射線監視等交付金事業により作成しました。